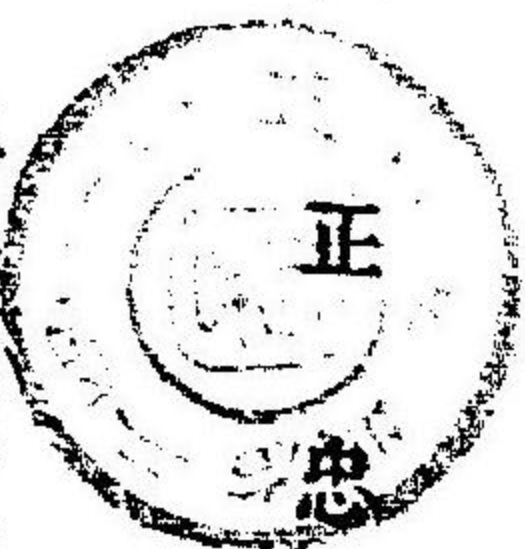


2038/24

佛國會社法要論

緒言

堀田



○(一)佛國に於てハ其民法第千八百三十二條以下ニ會社ニ關スル普通ノ法則ヲ定メタリ商事會社モ亦是ノ一種ノ會社ニ特殊ノ法則ヲ定メタル普通法ニ從フヘキハ固ヨリナリト雖モ亦其特殊ノ性質上普通法ニ從フヲ得サルモノナキニテラス此特殊ノ性質ニ應スルノ法則ハ商法ニ之ヲ定メ以テ民事法ノ變則ト爲シタレハ此變則ニ牴觸セサル限リハ普通法ヲ商事會社ニモ適用スヘキナリ故ニ本書ハ主トシテ一般ノ會社ニ普通ノ法則ヲ論シ商事會社ニ關スル特殊ノ法則ヲ論シテ一

○緒言

社ニ特殊ノ法則ハ之ヲ附録ニ讓ラントス

第一編 會社ノ性質及ヒ其要件ヲ論ス

第一章 會社ノ性質ヲ論ス

○〔二〕本章ヲ別テ三節ト爲シ第一節ニ會社ノ定義ヲ論シ第二節ニ會社契約ハ何種ノ契約ニ屬スルヤヲ論シ第三節ニ會社契約ト他ノ契約トノ異同ヲ論セントス

第一節 會社ノ定義ヲ論ス

○〔三〕會社トハ何ソヤ佛語ニ之ヲソシエテ「ト曰フ」ソシエテ「」ノ字義ニ至テハ數葉ノ能ク説キ尽スヘキニアラス而モ其要ナキカ故ニ茲ニハ單ニ之レカ法律上ノ定義

ヲ論定スルニ止ムヘシ「ボチエ」之レカ定義ヲ下シテ曰ク「會社トハ互ニ清算スヘキ篤實ナル利益ヲ共ニ得ンカ爲メニ二名以上ノ者其財産若クハ技術ヲ共通ニ附スル所ノ契約ナリ」ト即チ會社ノ目的タル利益ノ産出ト其分配トニ在リテ此目的ニ達スルノ方法タル數人財ヲ合セカチ協スルニ在リ宜ナル哉五指ノ更ル彈カンヨリ一舉ニ勝スヲナシ人類單獨シテ事ヲ舉ル能ハサルモ數人連結シテ能ク其功ヲ奏スルヲハ世人ノ常ニ見聞スル所ナリ會社ノ必要實ニ大ナリト謂フヘシ

○〔四〕佛民法第千八百三十二條ニ會社ノ定義ヲ掲ケタリ曰ク「會社トハ二人又ハ數人カ因テ生スルヲアルヘキ利益ヲ分配スルノ目的ヲ以テ或ル物ヲ共通ニ附スルヲ

合意スル所ノ契約ナリ」ト是レ前掲「ボチエ」ノ下シタル
 定義ニ基由セルモノニシテ能ク其當ヲ得タルヲ覺ユ
 或難シテ曰ク「會社ハ利益ノ分配ノミヲ目的ト爲スモノ
 ニアラス損失ノ負担モ亦其目的中ノ一ナリ此損失負担
 ノトタル會社ニ附着シテ相離レサル所ノモノナレハ之
 ヲ加ヘサルニ於テハ完全ナル定義ト謂フヲ得ス」ト非ナ
 リ會社ニ於テハ各社員必ス損失ヲ負担セサルヘカラス
 ト雖モ其目的如何ヲ尋ヌレハ利益ノ分配ニ在リテ損失
 ノ負担ニ在ラス損失ノ負担ハ所謂會社契約ノ一條件ノ
 ミ況ヤ利益ヲ分配スルトハ悉ク損失ヲ扣除シテ其潤益
 ヲ分配スルノ謂ナレハ利益ノ分配ト云フヤ中自ラ損失
 ノ負担ヲ包含スルヲヤ其レ然リ故ニ佛民法ニ掲載シタ

ル所ノ會社ノ定義ハ完全無瑕一点ノ非難ヲ容ルヘカ
 サルナリ

第二節 會社ハ何種ノ契約ニ屬スルヤヲ論ス

○〔五〕凡ソ契約ハ之ヲ別テ數種ト爲ス曰ク双務契約、片務
 契約曰ク有償契約、無償契約曰ク唯諾契約、實行契約曰ク
 有式契約、無式契約曰ク確實契約、偶生契約曰ク主契約、從
 契約是レナリ左ニ會社契約ハ其何レノ種類ニ屬スルヤ
 ヲ論究セン

○〔六〕双務契約、片務契約 結約者双方相共ニ義務ヲ負フ
 片ハ双務契約ニシテ結約者中一方ノミ義務ヲ負ヒ他ノ
 一方之ヲ負ハサル片ハ片務契約ナリ

双務片務ノ區別ハ單ニ道理上然ルニアラス實際上其益少カラス即チ契約ノ双務ナルト片務ナルトニ因テ其結果相同シカラサルナリ故ニ會社契約ハ双務ノモノナルカ將タ片務ノモノナルカヲ論定スルヲ殊ニ緊要ナリトス

双務片務ノ區別ニ因テ生スル所ノ結果ハ純理ニ基クモノニアラスト雖モ各國概子皆ナ之ヲ認メテ其法制ニ定ムルノミナラス亦能ク其理ニ適スルヲ覺ユレハ左ニ之ヲ開説スヘシ

第一 双務契約ノ場合ニ於テ締約者ノ一方其義務ヲ履行セサル片ハ他ノ一方ハ契約ヲ解除シテ其義務ヲ脱却スルヲ得ヘシト雖モ片務契約ノ場合ニ於テハ義務者違

約シタル片權利者ヨリ其契約ノ解除ヲ求ムル片ハ必然自己ニ甚シキ損害ヲ生スヘキカ故ニ強令ノ執行ヲ求ムルノ外他ニ良法ナキナリ

第二 双務契約ノ場合ニ於テハ後日ニ至リ締約者ノ一方其契約ヲ維持スルノ却テ自己ニ不利ナルヲ感スル片ハ其證ヲ滅却スルニ至ルノ恐レアレハ利益ヲ異ニスル者各自契約ノ證ヲ有スルヲ以テ可ナリト爲セ片務契約ノ場合ニ於テハ權利者ノミ其證ヲ有スルヲ以テ足レリトス(俗ニ所謂不完全ナル双務契約ノ場合ニ於テハ其實片務契約ニ外ナラサルモ締約者双方其證ヲ有スルヲ以テ得策ト爲ス然レモ此点ハ茲ニ必要ナキカ故ニ敢テ辨セス)其レ然リ故ニ會社契約ヲ以テ双務ノモノト爲ス

ト片務ノモノト爲ストニ付テハ實際上大差アリ今會社
 契約ハ其結成ノ當時ヨリ結約者ヲシテ互ニ義務ヲ負ハ
 シムルモノナレハ其双務契約タルヤ固ヨリ明カナリト
 ス加之此種ノ契約ハ他ノ双務契約ト異ニシテ結約者一
 時ニ其義務ヲ履行スルニアラス會社ノ繼續スル間ハ不
 斷互ニ其義務ヲ履行スヘキモノナリ
 ○〔七〕有償契約、無償契約 結約者相互ノ爲メ〔又ハ第三ノ
 人ノ爲メ〕各供給ヲ爲スルハ有償契約ニシテ結約者中一
 方ノミ利益ヲ得他ノ一方ニ之ヲ與ヘサルルキハ無償契約
 ナリ
 有償無償ノ區別ニ因テ生スル所ノ利益亦少シトセス無
 償契約ニ在テハ有償契約ニ於ケルヨリモ之ヲ締結スル

ニ一層能力ノ多カラントテ要ス例ヘハ財産ヲ管理スル
 ノ權ヲ有スルニ過キササル者ハ有償契約ヲ結フヲ得ルト
 雖モ無償契約ヲ結フヲ得サルノ類是レナリ又無償契約
 ノ最タル贈與ノ如キハ輕忽ニ失シテ利益ヲ損スルノ弊
 ナ防カンカ爲メ特ニ法式ヲ設クルトアルモ有償契約ニ
 在テハ此ノ如キトナシ又人ニ關スル錯誤アリタルルキハ
 其契約ノ有償ナルト無償ナルトニ因テ大ニ差異ノ見ル
 ヘキモノアリ義務者ノ責任亦其契約ノ有償ナルト無償
 ナルトニ因テ多少異ナルモノアリ
 會社契約ハ有償ノモノナリヤ否有償契約ト双務契約ト
 ハ相似タルカ如キモ其實然ラス片務契約ニシテ有償ナ
 ルト往々之レアリ例ヘハ利子附ノ貸借ノ類是レナリ然

レハ双務契約ハ結約者互ニ義務ヲ負フモノナレハ双方
共ニ權利アリ從テ其有償ノモノタルヲ明白ナリ今會社
契約ハ双務ノモノナレハ其有償ノモノナルヲ多辨ヲ待
タスシテ自ラ明カナラン
或ハ會社ニシテ無償ノ性質ヲ有スルモノナキニアラス
佛民法第八百五十四條第千八百四十條ヲ案スルニ無償
名義ノモノアルヲ知ル然レハ是レ唯會社ノ名義ヲ存ス
ルニ止マリ其實眞ノ會社ニアラサルナリ
又會社ニシテ有償無償混淆セルモノアリ例ヘハ社員中
一名ノ會社ニ持寄りタル價額ハ他ノ社員ノ持寄りタル
價額ヨリ少キモ其利益ノ分配ニ至テハ平等ニ之ヲ受ケ
ルルノ類是レナリ此種ノ會社契約ハ多少恩惠ニ屬スル

モノアリト雖モ之ヲ以テ會社契約ニ無償ノモノアリト
謂フヘカラス其契約ノ本休タル有償ノモノニシテ唯少
ク恩惠上ノ所爲ノ其間ニ存スルアルノミ

○〔八〕確實契約、偶生契約 確實偶生ノ區別ハ有償契約ノ
細別ニシテ結約ノ當時其成立及ヒ其効果ノ確然タルハ
ハ確實ノ契約ニシテ其成立又ハ其効果ノ全部若クハ一
分偶然ノ變象ニ係リ未ダ確然タラサルハ偶生ノ契約
ナリ佛國ニ於テハ契約ヲ確實偶生ノ二者ニ別タスシテ
之ヲ互易偶生ノ二者ニ別チタリ互易トハ互ニ價直ヲ交
換スルノ謂ナレハ有償契約ニシテ互易ナラサルモノナ
ク互易ノ語ハ偶然ノ變象ニ係ルモ互ニ價直ヲ交換セサ
ルニアラサル所ノ偶生契約ト相對スルモノニアラス偶

生契約亦是レ一種ノ互易契約ナリ故ニ互易ノ語ニ代フ
 ルニ偶生即チ不確實ノ語ニ相對スル所ノ確實ノ語ヲ以
 テシタリ
 確實偶生ノ區別ニ因テ生スル所ノ實益甚タ多カラスト
 雖モ亦全ク之レナキニアラス確實ノ契約ハ損失アルカ
 爲メニ之ヲ廢棄スルヲ得ルモ偶生ノ契約ハ損失アルカ
 爲メニ之ヲ廢棄スルヲ甚タ稀ナリ又確實契約ノ解除ハ
 双方ノ位置ヲシテ舊形ニ復セシムルニ止マルモ偶生契
 約ノ解除ハ爲メニ將來有利ノ運賦ヲ失フ者ニハ之ニ付
 與スルニ其失フ所ニ應スルノ賠償ヲ以テセサルヘカラ
 ス此等ノ点ニ付テハ猶ホ論スヘキモノアリト雖モ本書
 ノ主眼ニアラサレハ茲ニ之ヲ略ス

會社契約ハ確實ノモノナリヤ否佛國解法者曰ク(佛國ニ
 於テハ契約ヲ確實偶生ノ二者ニ別タスシテ之ヲ互易偶
 生ノ二者ニ別チタリ深ク此点ニ意ヲ注クニアラサレハ
 以下ノ所説ヲ解スルヲ得サルヘシ)會社契約ハ互易ノモ
 ノニアラス又偶生ノモノニアラス互易ト云ヒ偶生ト云
 フ何レモ結約者双方ノ得ル所ノ利益ノ互ニ確實ナルト
 偶然ナルトヲ指スモノナリ今會社契約ニ在テハ各社員
 ノ得ル所ノ利益ハ一社員カ他ノ社員ヨリ得ルニアラサ
 レハ利益アルルハ各社員平等ニ之ヲ得ヘク又損失アル
 ルハ各社員平等ニ之ヲ負担スヘク而シテ其損得ハ會社ト
 他人トノ間ニ爲ス所ノ處置ニ因テ生スル所ノモノナレ
 ハ或ハ之ヲ互易ト謂ヒ或ハ之ヲ偶生ト謂フ能ハサルナ

リ例へハ賣買ノ場合ニ於テ甲者乙者ニ千圓ノ價アル家屋ヲ千圓ニ賣リタリトセンカ甲者ノ乙者ヨリ得ル所ハ千圓ニシテ乙者ノ甲者ヨリ得ル所ハ千圓ノ價アル家屋ナリ故ニ之ヲ互易ノ契約ト謂フヘキモ會社ノ場合ニ於テ甲乙兩者各一万圓ヲ出シ一ノ會社ヲ結ヒ毎月三百圓ノ利益ヲ得ルモ其利益タル甲者ノ乙者ニ與フルニアラス又乙者ノ甲者ニ與フルニアラサルナリ故ニ之ヲ互易ノ契約ト謂フヘカラス又甲者乙者ニ時ニ因リ或ハ五百圓ノ價アリ或ハ二千圓ノ價アル所ノ其一月間ニ漁獲スヘキ鱒介ヲ一千圓ニテ賣リタルキハ其漁獲ノ多少ニ因リ或ハ甲者ノ乙者ヨリ得ル所ノ利益多ク或ハ乙者ノ甲者ヨリ得ル所ノ利益多キカ故ニ之ヲ偶生ノ契約ト謂フ

ヘキモ甲乙兩者各一万圓ヲ出シテ毎年千圓以上五千圓以下ノ収獲アルヘキ漁業ヲ目的ト爲ス所ノ會社ヲ結ヒ事業其宜キヲ得スシテ一千圓ノ収獲ニ止マリ若クハ其宜キヲ得テ五千圓ノ収獲アリタルキハ利害共ニ甲乙兩者ニ歸スヘク甲者ノ得ル所多ク又ハ乙者ノ得ル所多キトアラス故ニ之ヲ偶生ノ契約ト謂フヘカラサルナリト佛國ノ法制上能ク其當ヲ得タリト雖モ此論鋒ヲ確實偶生ノ區別ニ向クルヲ得サルヘシ確實ノ契約トハ結約ノ當時其成立及ヒ其効果ノ確然タルモノナレハ會社契約モ亦之ヲ確實ノモノト謂フヲ得ヘシ是レ會社ノ事業如何ニ因リ時ニ或ハ損失ヲ來タストアリ或ハ非常ノ利益ヲ得ルトアリト雖モ會社其者ノ成立及ヒ其効果ハ結約

ノ當時既ニ確然タルモノナレハナリ
 然レモ人爲上之ニ偶生ノ性質ヲ附與スルヲ得ヘシ例ヘ
 ハ之ヲシテ未必條件ニ係ラシメタルモノ類是レナリ〔未
 必條件ニ二種アリ一ヲ解除ト曰ヒ一ヲ停止ト曰フ此点
 ニ付テハ論スヘキモノ多シト雖モ本書ノ主眼ニアラサ
 レハ茲ニ之ヲ略ス〕

○〔九〕唯諾契約、實行契約 一般ノ法理ニ基キ承諾ノ一事
 ニ因テ成立スルモハ唯諾契約ニシテ實ニ承諾ヲ必要ト
 爲スノミナラス實際物件ヲ引渡スニアラサレハ成立セ
 サルモハ實行契約ナリ
 唯諾契約ハ結約者双方ノ承諾アルヤ直チニ成立スト雖
 モ實行契約ハ現ニ物件ヲ引渡スニアラサレハ成立セス

是レ其實益ナリ

會社契約ハ實行契約ナリヤ否曰ク會社ハ承諾ノミニ成
 レルカ故ニ唯諾契約ナルヲ明カナリ

○〔十〕有式契約、無式契約 成立ニ普通ノ條件ヲ具備スル
 ヲ以テ足ルモハ無式契約ニシテ普通ノ條件ノ外ニ或ル
 特殊ノ法式ヲ履行スルニアラサレハ成立セサルモハ有
 式契約ナリ

無式契約ハ單ニ双方ノ合意ノミニテ成立シ證書ナシ
 ト雖モ他ニ學證ノ方法アレハ則チ其執行ヲ爲サシムル
 ヲ得ヘシト雖モ有式契約ハ結約者之ヲ受認スト雖モ法
 定ノ法式ヲ履行シタルニアラサレハ其効ナキナリ
 會社契約ハ無式契約ナリ或ル會社ニ關シテハ數多ノ法

式ヲ要スルカ故ニ之ヲ有式契約ナリト誤認スル者ナキ
ニアラスト雖モ何レモ證據ニ關スルモノナリ此点ハ後
自ラ明了ナルヘシ

○〔十二〕主契約、從契約 他ノ契約ニ拘ハルイナク獨自成
立スルキハ主契約ニシテ他ノ契約ニ關シ之ニ附從シテ
成立スルハ從契約ナリ

主從ノ區別ニ因テ生スル所ノ利益ハ一契約ノ無効ナル
并他ノ契約ノ從テ無効ニ属スルト否トニ在リ即チ主タ
ル契約無効ニ属スルキハ主タル契約ニ代ラシノンカ爲
メニ約シタルモノヲ除クノ外從タル契約亦從テ無効ニ
属スヘシ之ニ反シ從タル契約無効ニ属スルモノ二个ノ契
約双方ノ意思ヲ以テ分割スヘカラサルモノト爲シ其關

係ノ嚴ク密接セルモノヲ除クノ外主タル契約爲メニ其
効ヲ失フコトナシ

會社契約ハ主タル契約ナリヤ否曰ク會社契約ハ獨自成
立スルモノニシテ其主タル契約ナルヤ明カナリ然レモ
之ヲ以テ必然主タルモノト謂フヘカラス必然主タル契
約ハ婚姻契約及ヒ養子契約ヲ除クノ外他ニ之レアル
ナシ故ニ双方相約シテ會社契約ニ從タル性質ヲ附與ス
ルヲ得ヘキナリ然レモ實際其例甚タ稀ナラン

○〔十二〕之ヲ要スルニ會社契約ハ双務、有償、確實、唯諾、無式
ニシテ且主タルモノナリ

第三節 會社契約ト他ノ契約トノ異同ヲ論ス

○會社ノ性質 ○會社契約ト他ノ契約トノ異同

○〔十三〕會社契約ノ性質ヲ明カニセント欲セハ相類セル他ノ契約トノ異同ヲ論セサルヘカラス是レ本節ノ主トスル所ナリ

○〔十四〕第一○會社ト共有トノ區別 共有ト會社トハ相類セリト雖モ其實決ノ然ラス或會社ト共有トノ別ヲ論シテ曰ク「會社ハ契約ニ成ルモ共有ハ契約ニ成ラス」ト實ニ共有ハ或ハ數多ノ相續人アル片或ハ數多ノ遺囑ノ受贈人アル片等ニ存スルモノニシテ其契約ニ原因スルト實際甚タ稀ナリト雖モ亦決ノ之レナキニアラス故ニ其契約ニ原因スルト否トニ因テ此別ヲ定ムヘカラス必スヤ他ニ之ヲ求メサルヘカラスナリ

會社ト共有トニ論ナク資本ハ之ヲ共通ニ附シ利益ハ之

ヲ分配シ各自ノ權利ハ其目的物上ニ集合スルカ故ニ一目スル片ハ彼此至ク其別ナキニ似タリト雖モ會社ト共有トハ其精神上其目的上大ニ異ナル所アリ即チ會社ノ場合ニ於テ各社員ノ志ス所ハ故ラニ資本ヲ共通ニ附シテ利益ヲ得ントスルニ在リ又共有ノ場合ニ於テ共有者ノ志ス所ハ遂ニ分配ヲ爲スニ至ルマテ平穩ニ利益ヲ収メントスルニ在リ故ニ會社ハ活動ノ性質ヲ有シ共有ハ不動ノ性質ヲ有スルモノナリ

○〔十五〕右ノ差別タル單ニ道理上然ルニアラス實際上其結果大ニ異ナル所アリ第一、佛國民法第八百十五條ニ規定シタル所ノ法則ハ共有ニ適用スヘキモ會社ニ適用スヘカラス是レ其差異ノ殊ニ較著ナルモノナリ

○會社ノ性質○會社契約ト他ノ契約トノ異同

佛民法第八百十五條第一項ニ曰ク「何人ニ限ラス不分ニ留マリ在ルコニ之ヲ強制スルヲ得ス分配ハ反對ノ禁止及ヒ契約アルニ拘ハラス常ニ之ヲ要求スルヲ得ヘシ」ト是レ共有ニ限レルノ法則ナリ今其法制ノ由テ基ク所ヲ一言センニ所有權ハ元ト獨自永遠ニ物上ニ行フヘキ所ノ無限ノ權利ニシテ共有權ハ即チ其變体ナリ〔共有權ニ二種アリ一ヲ未分共有權ト謂ヒ一ヲ既分共有權ト謂フ茲ニ所謂共有權ハ未分共有權ナリ〕何トナレハ共有者ハ各自一物全体ノ上ニ權利ヲ有シ獨自タルノ性質ヲ全有セサルモノナレハナリ此ノ如ク共有權ハ所有權ノ本性ニ反シ往々爭論ヲ生スルコアリテ其流通澁滯シ大ニ經濟法ニ反スルモノナレハ其必要已ムヲ得サルニアラザ

ルヨリハ可及的速ニ之ヲシテ其本性ニ復セシメサルヘカラス乃チ各共有者ヲシテ何時タリトモ其分配ヲ求ムルヲ得セシメタル所以ナリ
 同條第二項ニ曰ク「然レモ制限セラレタル時間分配ヲ停止スルコトヲ約スルヲ得ヘシ但其契約ハ五年以上纏勒スルモノタルコトヲ得スト雖モ之ヲ更新スルコトヲ得ヘシ」ト是レ分配其時機ヲ察セサルハ時ニ共有者ノ利益ヲ害スルコトアルカ故ニ設ケタル所ノ變例ニシテ共有權ハ進テ利益ヲ得ンカ爲メニ之ヲ不分ニ置クコトヲ許シタルモノニアラサルナリ
 右ノ法則ハ決メ之ヲ會社ニ適用スヘカラス會社ハ經濟ノ道ニ反スルコトナク却テ公私ノ利福ヲ増進スルノ要具

○會社ノ性質○會社契約ト他ノ契約トノ異同

ナレハ常ニ五年以上ノ期限ヲ以テ之ヲ結フヲ得ルノミ
ナラス〔佛民法第千八百六十五條第一〕各社員ハ故ナク期
限前ニ退社スルヲ得サルナリ〔佛民法第千八百七十一條〕

○〔十六〕第二、共有者間ニハ法律上互ニ財産ヲ管理スルノ
代理權ヲ生セス共有者事ヲ行フニハ必ス自己ノ利益ノ
爲メニ自己ノ名義ヲ以テスルモノニシテ其時ニ他ノ共
有者ニ義務ヲ負ハシムルアルハ是レ事務管理ノ法則
ニ依ルモノニシテ代理權ニ依ルモノニアラサルナリ〔佛
民法第千三百七十五條〕之ニ反シ會社契約ノ場合ニ於テ
ハ實際多クハ其契約ニ社員ハ如何ナル條件ヲ以テ如何
ナル程度ニ至ルマテ會社即チ他ノ社員ニ義務ヲ負ハシ
ムルヲ得ルヤノ点ヲ規定スルノミナラス立法官其定メ

ナキ場合ヲ慮リ管理法ニ關シテ數多ノ法則ヲ定メタリ
是レ民法第千八百五十九條ニ規定セル所ナリ此点ハ後
之ヲ詳論スヘシ

○〔十七〕第三、會社ニ關シ佛民法第千八百四十八條及ヒ第
千八百四十九條ニ定メタル法則〔義務ノ充當ニ關スル法
則〕ハ普通法ニ反シ會社及ヒ其社員ニ對シテ義務ヲ負フ
者其義務ヲ社員ニ執行シタルハ社員ニ於テ私ノ權利
ニ之ヲ充當シタル旨受領證ニ明示タルハト雖モ二个ノ
權利ノ割合ニ應シ之ヲ會社ノ權利ト社員ノ權利トニ分
當セサルハカラス又社員之ヲ受取リタル後義務者無資
力ト爲リタルハ其受取リタル所チ會社ニ返還セサル
ハカラスト定メタリ此法則タル社員ハ會社ノ利益ヲ先

○會社ノ性質○會社契約ト他ノ契約トノ異同

ニシテ一已ノ利益ヲ後ニセサルヘカラストノ理ニ基ク
モノニシテ之ヲ共有ノ場合ニ適用スルヲ得ス共有ノ場
合ニ於テハ普通ノ充當法ニ從フヘキナリ

○〔十八〕第四、社員中ノ一人死去シタルキハ會社解散ス社
員ハ分身一体ナリ一社員ノ死去ハ各社員ノ一部分ノ死
去ナリ故ニ一人死去シタルキハ會社解散スト雖モ共有
權ハ共有者中一人ノ死去ニ因テ消散スルヲナシ時ニ却
テ共有者ヲ増加スルニ至ルヲアリ例ヘハ死去シタル者
ノ相續人數名アルキノ類是レナリ

○〔十九〕第五、共有者ハ單ニ分配ノ訴權ヲ有スルニ過キス
ト雖モ社員ハ當ニ此訴權ヲ有スルノミナラス亦解社ノ
際各社員ノ負フ所ノ義務ヲ各社員ニ對シテ執行スルヲ

ヲ保スルヲ以テ目的ト爲ス所ノ訴權ヲ有スルモノナリ
此点ハ後之ヲ辨スヘシ

○〔二十〕以上會社ト共有トノ差異アル所ヲ論明シタリ今
ヤ進テ或ル獲得ヲ共ニ爲シタルキ事ノ疑ハシキハ會社
ト爲スヘキヤ將タ共有ト爲スヘキヤノ点ヲ論スヘシ抑
モ會社ハ共有ノ事實ノ外他ニ事實ノ存スルアルモノナ
レハ第一ニ共有存セリヤ否ヲ案シ共有存セリト認メタ
ル後ニ尙ホ進テ會社存セリヤ否ヲ案スヘキナリ故ニ事
ノ疑ハシキキハ共有ト爲サ、ルヘカラス故ニ甲乙兩者
之ヲ賣却シテ利益ヲ分配セントスルカ爲メニアラスシ
テ或ル時間共ニ之ヲ收益シ後之ヲ賣却スヘキ約ヲ以テ
或ル土地ヲ買入レタルキハ單ニ共有ト謂フヘク會社ト

○會社ノ性質○會社契約ト他ノ契約トノ異同

謂フヘカラス是レ會社ニ必要ナル一條件即チ利益ヲ分配スルノ目的存セサレハナリ二名ノ職工後ニ之ヲ分配シ各自ノ工用ニ供センカ爲メ材木ヲ買入レタルモ亦然リ然レモ甲乙兩者他日利益ヲ得テ之ヲ賣却センカ爲メニ土地ヲ買入レタルモ又ハ二名ノ商人他日利益ヲ分配スルノ約ヲ以テ或ル商品ヲ買入レタルモハ會社ナリ是レ其目的ト爲ス所ハ利益ヲ得ルニ在レハナリ

○〔二十一〕第二 會社ト賃貸トノ區別 以上開説シタルカ如ク會社ノ元素ヲ欠クモノハ會社ニアラサルト固ヨリ明カナリト雖モ時ニ皮相上其元素ヲ具備スト雖モ會社ニ必要ナル所ノ双方一体ヲ爲スノ意思ナキカ爲メニ會社ト爲ラサルモノアリ故ニ双方一体ヲ成スノ意思ア

リヤ否ヲ案シテ其性質ヲ定メサルヘカラス
會社ト賃貸トハ其區別判然トシテ別ニ之ヲ論明スルノ要ナキニ似タリト雖モ時ニ相類シテ其判定ニ困ムトナキニアラス因テ少ク此点ヲ辨スヘシ
例ヘハ甲者菓實ヲ分配スルノ約ヲ以テ其土地ヲ乙者ノ耕耘ニ任セタルモハ如何甲者ハ土地ノ收買權ヲ持寄り乙者ハ勞働ヲ持寄ルカ故ニ資本ノ共通アリ又收獲物ヲ分配スルノ約アルカ故ニ利益ヲ得ルノ目的アリ故ニ之ヲ稱シテ會社ナリト曰フ是ナルカ如シト雖モ其實分菓賃貸ニシテ會社ニアラス乙者ハ菓實ヲ賃銀トシテ支拂ヒ甲者ノ土地ヲ收買スルモノナリ其レ然リ故ニ其結果大ニ異ナレリ之ヲ會社ナリトセハ一方ノ者ノ死去ハ解

散ノ原因タルモ〔佛民法第千八百六十五條〕貸貸ナリトセ
 ハ其義務依然トシテ相續人ニ移ルモノナリ〔佛民法第千
 七百四十二條〕何ニ因テ其會社ニアラサルヲ知ル曰ク會
 社ニハ双方一体ヲ成スノ意思アルヲ必要トス此場合
 ニ於テハ甲乙兩者一体ヲ成シテ事ヲ行フニアラス故ニ
 會社ニアラサルナリ

○〔二十二〕佛國ニ獸借ナルモノアリ大ニ會社ニ相類シ時
 ニ會社ト混同スルモノナリ佛民法第千八百十八條ニハ
 現ニ折半ノ獸借契約者ハ各自ヨリ家畜ノ一半ヲ供給シ
 而シテ其利益ニ付キ之ヲ共通スル一个ノ會社ヲ謂フトア
 リ是レ唯死去ニ因テ解散セサルノ差アルノミ一種ノ會
 社ナルヤ疑フヘカラスト雖モ通常ノ獸借ハ唯多少會社

ノ性質ヲ帶フルニ過キスシテ其真正ナル性質ヲ釋ヌレ
 ハ一種ノ貸貸ニ外ナラサルナリ

○〔二十三〕又勞力貸貸ナルモノアリ少ク論セサルヘカラ
 ス世間商人ニシテ商業上人ヲ使役シ其利益ノ一分ヲ與
 フルヲアリ此契約ノ性質如何若シ之ヲ會社ト爲サンカ
 使役セラル、者ハ其損失ヲモ負担スヘク又商人ノ資格
 ナ有スヘキヲ以テ時ニ分散ヲ爲サルヘカラサレハ此
 性質ヲ論定スルヲ殊ニ緊要ナリトス其模様即チ結約者
 ノ意思如何ニ因テ時ニ會社ノ性質ヲ有スルヲナキニア
 ラスト雖モ概スルニ一定ノ貸銀ヲ定メス利益ノ幾分ヲ
 以テ貸銀ニ充ツル所ノ勞力ノ貸貸ナリ實ニ使役人ハ費
 用利子等ヲ利益ヨリ扣除スヘク被役人ハ利益ノ多寡ヲ

知ルカ爲メニ帳簿ノ檢閲ヲ爲スヲ得ヘク大ニ社員ニ類スル所アリト雖モ此種ノ被役人ハ貸銀ヲ定メタル被役人ト同ク使役人ノ意向ニ從ヒ其指揮ニ依ラサルヘカラス故ニ之ヲ社員ト爲スヘカラス又其契約ヲ會社ト爲スヘカラサルナリ其レ然リ故ニ使役人ハ被役人ノ爲ス所其意ニ適セサル片ハ解約スルヲ得ヘク被役人ハ時ニ賠償ヲ要ムルヲ得ヘキモ社員ノ如キ權利ヲ有スルヲナキナリ

○〔二十三〕謝金附ノ代理ニ於ケル亦然リ双方ノ意思ニ因リ時ニ會社ノ性質ヲ有スルヲナキニアラスト雖モ概スルニ代理ノ性質ヲ有スルモノナリ
例ヘハ甲商人ハ某地方ニ於テ商品ヲ買入レ乙商人ハ他

ノ地方ニ於テ其商品ヲ賣却シ損得ヲ共ニスヘキノ約ヲ爲シタル片ハ是レ具ノ會社ナリ然レハ一体ヲ成シテ事ヲ行フノ意ナク唯甲商人自ラ商業ヲ營ムノ意ナキカ故ニ其商店ヲ或ル期限内利益分配ノ約ヲ以テ乙者ニ託シタル片ハ代理ニシテ會社ニアラサルナリ

○〔二十四〕第三 會社ト貸借トノ區別 會社ト貸借トノ區別亦双方一体ヲ爲スト否トニ因テ之ヲ盡スルヲ得ヘシ
會社ハ巨利ヲ得セシムルト雖モ其多寡未定ニシテ事業ノ當否ニ因リ損得ヲ生スルモノナリ之ニ反シ貸借ハ其得ル所ノ利益少ナリト雖モ義務者無資力ナル片ヲ除クノ外貸主ニ於テ損失ヲ被ルヲナシ彼此各長短アリ故ニ實際一所爲ニ此二個ノ性質ヲ負ハシメ會社ノ長スル所

ト貸借ノ長スル所ト合シ時ニ會社ト爲スヲ利トスル
 片ハ會社ト爲シ又貸借ト爲スヲ利トスル片ハ貸借ト爲
 サントスル者ナキニアラス例ハ同時ニ會社ト貸借ト
 ノ性質ヲ有スルノ證ヲ作り事業其當ヲ得タル片ハ社員
 ト爲リテ巨利ノ分配ヲ要メ其當ヲ得サル片ハ貸主ト爲
 リテ元利ノ請求ヲ爲スノ類是レナリ此ノ如キ場合ニ於
 テハ双方ノ意思如何ヲ審案シテ事ヲ決セサルヘカラス」
 ○〔二十五〕例ハ契約書ニ第一ニ借主ハ労働ヲ持寄り貸
 主ハ金圓ヲ持寄り所ノ會社契約第二ニ借主ハ貸主ニ於
 テ其得ヘキ利益ノ一部分ヲ拋棄スル片ハ其持寄金額ヲ
 返還スヘキノ擔保契約第三ニ借主ハ定期ニ支拂フヘキ
 或ル金額ヲ以テ貸主ノ得ヘキ利益ヲ買フヘキノ偶生契

約ヲ記載シタリ此三種ノ契約タル獨自法律ニ觸ル、モ
 ノニアラスト雖モ之ヲ一所爲ニ合附スル片ハ違法ノ處
 置即チ高利貸ノ契約ナリ是レ名ヲ他ノ契約ニ借ルモ其
 實制限外ノ利子ヲ得ルノ貸借契約ニ外ナラサレハナリ」
 會社ニ金圓ヲ貸與シタル片ハ貸主ニ其利益ノ一部分ヲ
 與ヘ又其損失ノ幾分ヲ負擔セシムルノ約アリト雖モ貸
 借ニシテ會社ニアラス或ハ利益ノ分配ヲ目的ト爲スヤ
 常ニ會社ナリト曰フ者アリ非ナリ一体ヲ成シテ始メテ
 會社成ル單ニ利益分配ヲ約スルモ一体ヲ成スニアラサ
 ル片ハ之ヲ會社ト謂フヘカラサルナリ
 ○〔二十六〕前例ニ反シ其實會社ナルヲ裝フテ貸借ト爲ス
 ヤナキニアラス例ハ商人ニ資本ヲ貸與シタルモ利子

○會社ノ性質○會社契約ト他ノ契約トノ異同

ヲ得ルノ外利益ニ應シテ割前ヲ得ヘキノ約ヲ爲シ而ノ帳簿ヲ検査シ目錄ノ調製ニ立會フノ約ヲ爲シタル其
他名義ハ貸借ナレモ其實社員ニアラサレハ有スヘカラサル權利ヲ約シタルハ裁判上其實ニ從テ之ヲ會社ナリト決スルヲ得ヘキナリ

○〔二十七〕第四 會社ト賣買トノ區別 會社ト賣買トハ其性質全ク異ナレルカ故ニ通常判別ニ苦ムトナシト雖モ時ニ其判定ニ苦ムトナキニアラス例ヘハ著述者其著書ニ因テ利益ヲ得ンカ爲メニ書肆ト相約シテ或ル期限内該書ヲ發賣スルノ權ヲ讓渡シタル場合ニ於テ特定ノ價ヲ約シタルハ賣買ナリト雖モ潤益ノ幾分ヲ得ヘキノ約ヲ爲シタルハ之ヲ賣買ト謂フヘカラス双方ノ意

思如何ニ因テ一ノ會社ヲ成スモノナリ

○〔二十八〕以上開設シタル所ニ因テ讀者ハ會社ノ性質如何ヲ了解シタルナルヘシ民事會社商事會社ノ區別及ヒ會社ハ無形人ヲ成スヤ否ヲ論スルハ會社ノ性質ヲ明カニスルニ於テ利益アリト雖モ本編第三章以下ニ讓リ茲ニ之ヲ畧ス

第二章 會社ノ要件ヲ論ス

○〔二十九〕凡ソ契約ノ條件ニ三種アリ曰ク須要ノモノ曰ク當然ノモノ曰ク偶生ノモノ是レナリ須要ノ條件トハ契約ノ成立上又ハ其効力上必然欠クヘカラサルモノニシテ此種ノ條件ヲ欠クハ双方ノ意思如何ニ拘ハラズ

○會社ノ要件

其契約或ハ成立セス或ハ無効ニ屬スルモノナリ又當然ノ條件トハ性質上契約ニ附從シ締約者特ニ之ヲ明言セスト雖モ自カラ存スルモノニシテ其須要ノ條件ト異ナル所ハ彼レハ双方ノ意思ヲ以テスルモ之ヲ左右スルヲ得スト雖モ此レハ双方ノ意思ヲ以テ之ヲ左右スルヲ得ルモノナリ又偶生ノ條件トハ性質上契約ニ存スルヲナキモ亦公益ノ之ニ附從セシムルヲ禁スルヲナク双方ノ意思ヲ以テ設定スルヲ得ルモノナリ

當然ノ條件及ヒ偶生ノ條件ハ他日ニ讓リ茲ニハ只其須要ノ條件ヲ論スヘシ須要ノ條件ニ普通ノモノト特殊ノモノトノ二アリ普通ノモノトハ一切ノ契約ニ欠クヘカラサルモノニシテ特殊ノモノトハ或ル種ノ契約ニ特殊

ノモノナリ

第一節 普通ノ要件ヲ論ス

○〔三十〕普通ノ須要ノ條件トハ何ソヤ契約ノ成立ニ必要ナルモノニアリ曰ク締約者又ハ其代理人ノ承諾曰ク盡定ニシテ双方ノ處分シ得ヘキ目的物曰ク眞實ニシテ適法ナル原因是レナリ又其効力ニ必要ナルモノニアリ曰ク承諾ニ瑕疵ナキ曰ク双方能力ヲ有スルト是レナリ請フ左ニ承諾目的原因ノ三者ニ別ツテ此点ヲ論スヘシ〔契約ノ効力ニ必要ナル條件ハ承諾ノ數ニ於テ之ヲ論スヘシ〕

第一款 承諾ヲ論ス

○〔三十一〕承諾トハ結約者双方ノ意思ノ合同ナリ之ヲ詳説スレハ一方ニ於テ喚諾即チ會社ヲ結フト云ヒタルモ存スルモ一方ニ於テ應諾即チ會社ヲ結フト云ヒタルモ存スルモノナリ而シテ此喚諾ト應諾トハ一切ノ点ニ付キ全ク合同スルニアラサレハ法律上承諾アリトセス例ハ甲者乙者ニ對シテ某會社ヲ結フト云ヒタル場合ニ丙者之ヲ結フト云ヒタルモ其契約ノ成立セサルハ勿論甲者乙丙丁ノ三者ニ對シテ喚諾ヲ爲シ乙丙ノ二者ノミ應諾ヲ爲シタルモ亦其契約全ク成立セサルナリ是レ其人ニ關シテ双方意思ノ合同アラサレハナリ然レモ此第二ノ場合ニ於テハ喚諾ノ仕様契約ノ性質其目的結約者ノ趣意其他

種々ノ情况ニ因リ各別ノ應諾ヲ聽許シタルモノナルコト明ラカナルモ其契約ハ應諾ヲ爲シタル者ニ對シテ成立スルモノトス
右ノ外契約ノ性質及ビ目的物ニ付キ結約者ノ意思全ク合同スルニアラサレハ其契約成立セズ例ハ或ル物ノ使用ヲ目的ト爲ス所ノ結社ノ喚諾ヲ爲シタルニ或ル物ヨリ收獲スヘキ果實ヲ目的ト爲ス所ノ結社ノ應諾ヲ爲シ又ハ會社ノ喚諾ヲ爲シタルニ勞力貸貸ノ應諾ヲ爲シタルモ類是レナリ
○〔三十三〕承諾發表ノ方法如何曰ク書面ヲ以テスルト口頭ヲ以テスルトニ論ナク明白ニ承諾シタルモ勿論暗黙ニ承諾シタルモ亦其契約成立スルモノナリ然レモ證

據ノ点ニ至テハ一概ニ之ヲ論スヘカラス時ニ書面ヲ以テスルニアラサレハ之ヲ證スルヲ得サルコトアリ此点ハ後之ヲ辨スヘシ

○(三十四)然ラハ承諾成立ノ時期即チ双方意思ノ合同スル時期如何承諾ハ一人喚諾ヲ爲シ他ノ一人承諾ヲ爲シタルキニ成立スルモノニシテ此点ニ付テハ別ニ難事ナキニ似タリト雖モ是レ唯双方面ノアタリ協議シタルキノミ遠路相互ニ信書ヲ以テ契約ヲ爲スニ際シテハ何レノ時ニ承諾成立シタルモノナリヤノ点頗ル疑訝ニ屬シ諸學者ノ說今日ニ至ルマテ未タ一定セス例ヘハ甲者書ヲ他邦ニ有ル乙者ニ寄セテ或ル喚諾ヲ爲シタルキハ未タ應諾ナキヲ以テ承諾成立セサルヤ明カナリト雖モ乙

者ニ於テ應諾ノ旨ヲ認メ之ヲ送リタルキハ如何承諾ハ其回答ヲ認メタル日ニ成ルカ將タ之ヲ發付シタル日ニ成ルカ抑モ亦甲者ノ之ヲ落手シタル日ニ成ルカ乙者回答ヲ認メタリト雖モ之ヲ發付スル以前ハ其意ヲ變スルヤモ知ルヘカラサルカ故ニ回答ヲ認メタル日ニ成立スルトノ說ヲ主唱スル者ハ多カラスト雖モ發付ノ日ニ成立スルトノ說及ヒ到達ノ日ニ成立スルトノ說ハ兩立シテ盛行ハル、モノナリ「ボワソナード」氏ノ如キ亦大審院ニ於テ佛國賣買篇ヲ講スルニ當リ到達ノ日ヲ以テ承諾成立スルトノ說ヲ主唱シ今日ニ至テハ發付ノ日ニ成立スルトノ說ヲ採用シタリ「ボワソナード」氏カ今日前說ヲ捨テ、後說ヲ取りタルハ必スヤ其據ロアルナルヘシ

ト雖モ余ハ依然到達ノ日ヲ以テ承諾成立スルモノト爲
スノ眞理ニ近キヲ信ス請フ左ニ之ヲ辨セン

○(三十三)應諾ノ喚諾者ニ到達シタル日ニ承諾成立スル
所以ヲ論明スル以前ニ何故ニ此点ヲ論スルノ必要アル
ヤナ一言セサルヘカラス喚諾ハ其日時ヲ經過スル久シ
キニ亘リ事實上其消滅シタルヲ推知スヘキ場合及ヒ
喚諾者死去シ若クハ其能力ヲ失ヒタル場合ヲ除クノ外
消滅セサルモノナレハ一旦喚諾ヲ爲スヤ承諾成立ノ時
期ヲ嚴定スルノ要ナキニ似タリト雖モ喚諾ハ必スシモ
之ヲ變更シ若クハ取消シ得ヘカラスアルニアラサレハ此
ノ如キ場合ニ際シテハ其承諾成立ノ時期ヲ定ムルヲ殊
ニ緊要ナリ若シ其承諾成立以前ニ之ヲ取消シタルランカ

取消ノ効アリト雖モ其後ニ在テハ全ク其効ヲ消サレナリ

○(三十三)抑モ承諾ハ結約者双方ノ意思ノ合同ナリ故ニ
一旦應諾ノ意思ヲ決シ其回答ヲ發付シタル以上ハ承諾
成立スルカ如キモ其回答ノ未タ喚諾人ニ到達セサル以
前ハ其取消ヲ通知スルヲ得ヘシ而シテ應諾ノ確定ハ喚諾
人ノ之ヲ知りタル時ニ在レハ眞ニ承諾ノ成立シテ濫リ
ニ之ヲ左右スヘカラスアルニ至ルハ其應諾ノ喚諾人ニ到
達シタル時ナリト謂ハサルヘカラス茲ニ最モ容易ナル
一事ヲ擧ゲテ此点ヲ明カニスヘシ例ヘハ甲者乙者ニ或
ル喚諾ヲ爲シ乙者ハ應諾ヲ丙者ニ托シタリ然ル後其應
諾ヲ取消サントシテ丙者ノ未タ甲者ニ其回答ヲ傳ヘサ
ル以前ニ電報ヲ以テ丙者ニ取消ノ旨ヲ通知セリ因テ丙

者ヨリ乙者カ喚諾ニ應セサル旨ヲ甲者ニ傳ヘタル片ハ何人ト雖モ其承諾成立セスト曰ハン果ノ然ラハ書信ヲ以テスル場合ト雖モ亦同一ニ決セサルヘカラス右ノ如ク承諾ハ應諾ノ喚諾者ニ到達シタル片ニ成立スルモノナレハ若シ喚諾取消ノ通知ト應諾ノ通知ト途中ニ於テ行違ヒタル片ハ其到達ノ日時ヲ比較シ其前後ニ因テ事ヲ決セサルヘカラサルナリ

第一條

承諾ノ瑕疵ヲ論ス

○〔三十四〕上來開説シタル如ク承諾ナキ片ハ契約成立セサルハ勿論縱ヒ承諾アリト雖モ半點ノ瑕疵アランカ以テ契約ヲ完全スルコトナクシテ其結果或ハ契約ノ成立ヲ

妨ケ或ハ其効力ヲ損スルモノナリ蓋シ瑕疵ニ二種アリ曰ク錯誤曰ク畏懼是レナリ請フ左ニ之ヲ分説セン

第一號 錯誤ヲ論ス

○〔三十五〕錯誤トハ何ソヤ眞實ノ裏面ナリ乃チ眞實トハ思想ノ現象ト事物ト相符合スルノ謂ナレハ錯誤ハ則チ思想ノ現象ト事物ト相齟齬スルノ謂ナリ錯誤ヲ分テ二ト爲ス一ハ事實上ノ錯誤ニシテ一ハ法律上ノ錯誤ナリ而シテ此錯誤ニ契約ノ成立ヲ妨クルモノト其効力ヲ損スルモノトニアリ請フ逐次之ヲ辨セン
○〔三十六〕第一 事實上ノ錯誤 事實上ノ錯誤トハ契約ニ關スル實体上ノ事實ヲ誤認スルノ謂ニシテ其數五ア

○會社ノ要件○承諾

リ曰ク契約ノ性質ニ係ル錯誤曰ク其原因及ヒ其遠因ニ係ル錯誤曰ク其目的物及ヒ其品質ニ係ル錯誤曰ク締約者其人ニ係ル錯誤曰ク計算日附及ヒ場所ニ係ル錯誤是レナリ

○〔三十七〕契約ノ性質ニ係ル錯誤トハ一方ニテハ結社ヲ爲シタリト信シタルニ他ノ一方ニテハ勞力ノ貸貸ヲ爲シタリト信シタルカ如キ類ヲ謂フ此場合ニ於テハ固ヨリ双方意思ノ合同アリト謂フヘカラス故ニ其契約ハ全ク成立セサルナリ

○〔三十八〕契約ノ原因ニ係ル錯誤トハ契約ノ直接ナル理由ヲ誤ルモノニシテ各社員ノ或ル物ヲ共進ニ附シ因テ利益ヲ分配セントスルノ希望ハ其原因ナリ而シテ其原因

タル人ヲシテ契約ヲ結フノ意ヲ決セシメタルモノナレハ若シ之ニ付キ錯誤アリタルハ則チ承諾成立セス從テ其契約成立セサルナリ今如何ナル場合ニ原因ニ錯誤アリト爲スカ實際多クハ目的物ノ錯誤ニ歸スルモノニシテ一面ヨリ之レヲ見レハ目的物ナク又錯誤アルモノニシテ一面ヨリ之レヲ見レハ原因ニ錯誤アルモノナリ

○〔三十九〕又遠因ニ係ル錯誤トハ契約ノ不直接ナル理由ヲ誤ルモノニシテ而シテ直接ナル理由ハ其數一ナリト雖モ不直接ナル理由ハ其數一ナラス其理由タル對手人ノ得テ知ルヘキ所ニアラス全ク締約者ノ心裡ニ存スルモノナレハ縱ヒ之ヲ錯誤シタルモ爲メニ對手人ヲシテ其影響ヲ被ラシムヘカラス故ニ遠因ノ錯誤ハ承諾ニ瑕瑾

ヲ與フルモノニアラサルナリ然レモ結約者特ニ其遠因ヲ指示シ契約ノ成否ヲ之ニ關セシメタルモ其他遠因ヲ以テ結約者ノ意思上之ヲ原因ト看做シタル場合ニ於テハ此限ニ在ラス

○〔四十〕契約ノ目的物ニ係ル錯誤トハ目的物ノ全体又ハ所爲ノ性質ニ錯誤アルモノニシテ例ヘハ一方ニ於テハ甲物ヲ共通ニ附シタリト信シ他ノ一方ニ於テハ乙物ヲ共通ニ附シタリト信シタルモノ類ニシテ其契約ノ全ク成立セサルヤ固ヨリ明カナリ

○〔四十一〕品質ニ係ル錯誤トハ目的物ニ錯誤アラサルモ其品質ニ錯誤アルヲ謂フモノニシテ此品質ニ主タルモノト從タルモノトノ別アリ

品質ノ主從ハ結約者ノ意思如何ニ關スルモノナリト雖モ亦之レカ概定ノ推測ナキニ非ス乃チ物質タルノ品質ハ概子主タルモノニシテ物質タラサルノ品質ハ概子從タルモノナリ何トナレハ物質ハ其物体ヲ特定スル所ノモノニシテ結約者ノ直接ニ目的ト爲シタルモノト看做スヲ得ヘキモ物質タラサル品質ハ縱ヒ之ヲ異ニスルモ其物件ヲ異ニスルトナシ故ニ若シ之ヲ誤ルモ其物件名稱同一ニシテ結約者ノ特ニ之ヲ主ト爲スノ意ヲ表シタルモハ格別此ノ如キハ一ノ遠因ニシテ主タルモノニアラサルナリ

○〔四十四〕右從タル品質ニ錯誤アルモ恰モ遠因ニ錯誤アルモト同ク其契約ニ瑕疵ヲ生セスト雖モ主タル物質

ニ錯誤アルキハ或ハ其契約ノ成立ヲ妨ケ或ハ其契約ノ効力ヲ損ス請フ左ニ之ヲ辨セン
 主タル品質ハ結約ノ原因タルヤ固ヨリ明カナリト雖モ之レカ唯一ノ原因タルトアリ又ハ其原因中ノ一二位スルトアリ之レカ唯一ノ原因タルキ結約者之ヲ錯誤スルニ於テハ其契約決メ成立スヘカラス然レモ若シ其原因中ノ一二位スルニ過キサルキハ之ヲ錯誤スルモ唯其契約ヲ取消シ得ルニ止マリ其成立ヲ妨クルトナシ是レ一ハ承諾ヲ排除スルモノニシテ一ハ承諾ニ瑕疵ヲ及ホスモノナレハナリ

○〔四十五〕結約者其人ニ係ル錯誤トハ甲者ハ乙者ト會社契約ヲ爲シタリト信シタルニ丙者ハ甲者ト其契約ヲ爲シタリト信シタルキノ如ク結約者其人ヲ錯誤スルモノニシテ此錯誤タル其人ノ契約ニ有スル關係ノ輕重ニ因リ其結果相同シカラス乃チ結約者其人ヲ以テ契約唯一ノ原因ト爲シタルキハ此錯誤契約ノ成立ヲ妨ケ其契約ノ一原因タルモ他ニ之レカ原因アリテ唯一ノ原因タラサルキハ其契約ノ効力ヲ損ス又其結約ノ原因タラサルキハ全ク契約ニ影響ヲ及ホサルモノナリ
 會社契約ニ在テハ資力經歷才能品行等ヲ考察スヘキモノナレハ結約者其人ヲ以テ決意ノ一原因ト爲ス然レモ決メ唯一ノ原因ニアラス故ニ唯契約ヲ取消スヲ得ルニ止マルモノナリ

○〔四十六〕計簿日附及ヒ場所ニ係ル錯誤ハ多クハ契約ノ

證書中ニ存スルモノニシテ契約ノ本体ニ瑕疵ヲ與フル
 ナキナリ

○〔四十七〕右ノ如ク承諾ニ錯誤アルハ其契約或ハ成立
 セス或ハ其効力ヲ損スト雖モ人自ラ錯誤ヲ招キ爲メニ
 對手人ニ損害ヲ被ラシメタルハ必ス其賠償ヲ爲サ
 ルヘカラス又若シ其錯誤ノ責對手人ニ在ルハ爲メニ
 契約ノ成立ヲ妨ケ若クハ其効力ヲ損セサルハト雖モ對
 手人ヲシテ損害ノ償ヲ爲サシムルヲ得ヘキナリ

○〔四十八〕第二 法律上ノ錯誤 錯誤ハ其事實上ニ係ル
 ト法律上ニ係ルトニ論ナク其承諾ノ原因タルハ或ハ
 契約ノ成立ヲ妨ケ或ハ其効力ヲ損スルモノナリ
 世人周ク法律ヲ知了セルモノト看做スハ法律ノ一大原

則チレハ或ハ法律ヲ知ラサルハ其人ノ不幸ニシテ毫モ
 顧ルナクシテ可ナリト曰フ者アラン然レモ其言是ナ
 ラス抑モ人爲法ハ頒布ニ因テ始メテ人ニ之ヲ遵奉スル
 ノ義務ヲ生スルモノナレハ之ヲ適用セント欲セハ必ス
 先ツ之ヲ知ラシメサルヘカラス然レモ法律ハ社會ノ進
 化ト共ニ密ヲ加フレハ普通ノ學識ヲ備フル者ト雖モ猶
 ホ之ヲ知得スルニ困苦ヲ覺ルニ至ル況ヤ凡庸ノ民衆ニ
 於テハ實際上法律ヲ知ラサル者其多キニ居ルハ固ヨリ
 暗易キノ理ナリ故ニ若シ不知チ以テ法網ヲ免カル、ノ
 辭柄ト爲スチ聽サハ終ニ社會ノ安寧ヲ保維スル能ハス
 於是乎已ムヲ得スシテ公益ニ關スル法ニ限り世人周ク
 法律ヲ知得セリト看做スノ法ヲ定ム此法ヤ元ト一ノ變

則ニシテ純理ニ基クモノニアラサルナリ故ニ公益ニ關スル法ト雖モ人ヲシテ周ク之ヲ知ラシムルノ途アルモノハ之ヲ適用スヘカラス況ヤ其法ノ偏ヘニ私益ニ關シテ之ヲ適用セサルモ公益ヲ保維スルニ於テハ害ナキモノヲヤ故ニ法律上ノ錯誤亦事實上ノ錯誤ト同ク其結約ノ理由ノ全部ヲ成スト一分ヲ成ストニ從ヒ或ハ契約ヲシテ無効タラシメ或ハ之ヲシテ取消スニ得ヘキモノタラシメサルヘカラス

○〔四十九〕如何ナル場合ニ法律上ノ錯誤アリト爲スカ曰ク茲ニ一々其例ヲ掲ケスト雖モ或ハ契約ニ附シタル法律上ノ名稱ヲ誤ルヲアリ或ハ法律上ノ効果ヲ誤ルヲアリ或ハ法律上其原因ヲ誤ルヲアリ或ハ法律上其目的物

ヲ誤ルヲアリ或ハ法律上其人ヲ誤ルヲアリ其場合敢テ少ナシトセス此ノ如キハ皆ナ法律上ノ錯誤ニシテ其契約ノ理由ノ全部ヲ成スト一分ヲ成ストニ因リ或ハ契約ノ成立ヲ妨ケ或ハ其効力ヲ損スルモノナリ然レハ將ニ締結セントスル契約ノ事柄ニ關スル法律ヲ探知スルハ敢テ難キニアラス之ヲ學識經驗アル者ニ質ス亦容易ナレハ裁判官法律上ノ錯誤ヲ以テ承諾ノ瑕瑾ト爲サントスルニ方テハ殊ニ慎重ヲ旨トシ狀況ヲ熟察シテ其寬恕スヘキヤ否ヲ審究攻察セサルヘカラス

○ 第二號 畏懼ヲ論ス

○〔五十〕畏懼トハ何ソヤ自己又ハ他人ノ身体財産若クハ

○會社ノ要件○承諾

名譽ニ危害ヲ被ルヲ恐怖スルヲ謂フ故ニ其暴行脅迫ニ出テタルト天災厄難ニ因ルトテ問ハサルナリ抑モ承諾ハ自由ニ出テタルモノニアラサレハ完全ノ効ナシ故ニ畏懼ハ承諾ニ瑕疵ヲ及ホスモノトス然レモ之ヲ以テ契約ノ成立ヲ妨ケ又ハ其効力ヲ損スルモノト爲スニハ結論ノ原因畏懼ニ在リテ爲メニ不正ノ結果ヲ生シタルヲ必要トス請フ左ニ之ヲ分説セン

○〔五十一〕第一 畏懼ヲ以テ契約ノ成立ヲ妨ケ又ハ其効力ヲ損スルノ原因ト爲スモノハ是レ其締約者ノ自由ヲ妨ケ其承諾ニ瑕疵ヲ及ホスカ故ナリ故ニ締約者單ニ畏懼ノ念ヲ抱キタルモ其契約ニ之レカ影響ヲ及ホサルハ以テ其成立ヲ妨ケ又ハ其効力ヲ損スルヲナシ即チ

契約ノ原因畏懼ニ在ルハニアラサレハ承諾ニ瑕疵ヲ生スルヲナキナリ其畏懼不利ノ條件ヲ承諾スルノ原因タルハト雖モ其締約ノ原因タルニアラサルハ契約ニ瑕疵ヲ及ホスヲナシ唯自己ニ對スル暴行脅迫畏懼ノ原因タルハ作動者ヲシテ損害ヲ賠償セシムルヲ得ルノミ如何ナル場合ニ於テ契約ノ原因畏懼ニ在リト爲スカ此點タル實際當時ノ情況ト其人ノ年齢身位智愚強弱思慮ノ淺深教育ノ厚薄等ヲ攻察シテ之ヲ定ムルノ外ナシ故ニ普通ノ道徳心ヲ有スル者ノ畏懼スヘキ事ナリヤ否ヲ以テ之レカ標準ト爲スカ若キハ法理ノ容レサル所ナリ

○〔五十二〕第二 畏懼ヲ以テ契約ノ成立ヲ妨ケ又ハ其効力ヲ損スルノ原因ト爲スニハ單ニ其締約ノ原因タルヲ

ヲ要スルノミナラス亦爲メニ不正ノ結果ヲ生シタルト
 ナ要ス人畏懼ノ念ヲ生シ爲メニ結約スルニ至リタル片
 下雖モ其契約タル固ト當然爲スヘキモノナル片ハ其成
 立ヲ妨ケ又ハ其効力ヲ損スルトナシ暴行脅迫ヲ受ケ爲
 メニ損害ヲ被リタル者ハ其賠償ヲ要ムルヲ得ヘキモ之
 ナ原因トシテ其當然爲スヘキ契約ヲ無ニ歸セシメ又ハ
 之ヲ取消スヲ許スヘカラサルナリ

○〔五十三〕右ニ説示シタル如ク結約ノ原因畏懼ニ在リテ
 爲メニ不正ノ結果ヲ生シタル片ハ承諾ニ瑕疵ヲ及ホス
 モノナリ而シテ其瑕疵ハ契約ノ成立ヲ妨クルトアリ又其
 効力ヲ損スルトアリ今何ニ依テ其區別ヲ定ムヘキカ其
 結約ニ及ホス所ノ影響ノ強弱ニ應シテ其差ヲ生スルモ

ノナレハ茲ニ之ヲ概定スルヲ得ス實際ノ情況ニ基キ危
 害急迫ニシテ抗拒スヘカラサル片ハ其畏懼人ナシテ是
 非得失ノ思想ヲ失ハシメ縱ヒ歸與アルモ全ク責任ナカ
 ラシムルカ故ニ契約ノ成立ヲ妨クルモノト爲シ又其危
 害ノ抗拒シ得ルヘカラサルニアラサルモ若シ之ニ抗拒
 スル片ハ結約ヲ承諾スルヨリモ一層其害ノ甚シキヲ恐
 レ之ヲ避ケンカ爲メ承諾ヲ爲シタル片ハ自由ヲ全失シ
 タルニアラサルモ其幾分ヲ減殺セラレタルモノナレハ
 契約ノ効力ヲ損スルモノト爲スヘキナリ

○〔五十四〕右ノ如ク畏懼ノ輕重ニ因リ或ハ契約ノ成立ヲ
 妨ケ又ハ其効力ヲ損スルト雖モ其畏懼ノ原因對手人ニ
 在ラスシテ爲メニ對手人ニ損害ヲ及ホシタル片ハ其賠

償ノ責ニ任セサルヘカヲサルナリ

第三號 詐欺ヲ論ス

○〔五十五〕詐欺トハ人ヲ欺クカ爲メニ行ヒタル虚偽ノ術策ナリ佛法其他之ニ摸倣セル法制ニ於テハ詐欺ヲ以テ承諾ニ瑕疵ヲ生スルモノト定メタリ蓋シ非ナリ抑モ詐欺ハ元ト人ヲシテ錯誤セシムルヲ以テ其趣意ト爲スモノナレハ爲メニ錯誤ヲ生シタルハ其錯誤ノ如何ニ因リ或ハ契約ノ成立ヲ妨ケ或ハ其効力ヲ損スト雖モ個ハ是レ錯誤ノ致ス所ニシテ詐欺ノ致ス所ニアラス詐欺ハ錯誤ノ原因タルニ過キサルナリ故ニ若シ詐欺ニ因リ契約ヲ結ヒタルハ詐欺者ニ對シ損害ノ償ヲ要ムルヲ得

ヘキモ爲メニ承諾ニ瑕疵ヲ及ホス所ノ錯誤ヲ來サルハ其契約ヲ取消シ又ハ之ヲ無ニ歸セシムルヲ得サルナリ

或ハ曰ン詐欺ニ因リ承諾ニ瑕疵ヲ及ホスヘキ錯誤ヲ生セサルハト雖モ其詐欺對手人ヨリ出テタルハ佛法ノ如ク之ヲ以テ其契約取消ノ原因ト爲スヘシト曰ク賠償名義ヲ以テ其契約ヲ取消スハ固ヨリ可ナリト雖モ詐欺其者ヲ以テ直チニ契約取消ノ原因ト爲スハ抑モ不可ナリ是レ恰モ暴行脅迫ハ畏懼ノ原因ニシテ契約ニ直接ノ影響ヲ及ホスモノニアラサレハ其所爲對手人ニ出テタルハ爲メニ承諾ニ瑕疵ヲ及ホスヘキ畏懼ヲ生セサルモ或ハ賠償名義ヲ以テ其契約ヲ取消スハ許スヘ

シ暴行脅迫ヲ以テ直チニ契約取消ノ原因ト爲スヘカラサルト一般ナリ余カ此點ニ付キ勉メテ區別ヲ正フスルモノハ是レ詐欺其者ヲ以テ契約取消ノ原因ト爲スト賠償名義ヲ以テ契約ヲ取消スニ過キスト爲ストノ間ニハ差異ノ大ニ見ルヘキモノアルカ故ナリ即チ詐欺其者ヲ以テ契約取消ノ原因ト爲サルハ契約ノ目的不動物ニ在リテ之ヲ轉獲シタル他人其情ヲ知ラサルハ契約ノ對手人數人アリテ其一人ノミ詐欺ヲ行ヒタルハ詐欺者契約取消前無資力ト爲リタルハ及ヒ對手人ニ於テ詐欺ヲ行ハス又ハ之ニ干與セサルハ其契約ヲ取消ス能ハスト雖モ之ヲ以テ契約取消ノ原因ト爲スハ畏懼錯誤ト同ク右ノ場合ニ於ケルモ亦其契約ヲ取消スチ得ヘシ

彼此結果ヲ異ニスル其レ此ノ如シ故ニ宜ク眞理ノ在ル所ヲ繹子テ其性質ヲ決セサルヘカラサルナリ

第二條 能力ヲ論ス

○〔五十六〕承諾ハ契約ノ基本ニシテ利害得失ヲ考察シテ其決意ヲ表スル是レ承諾ナレハ契約ヲ結ハントスル者ハ必ス承諾ヲ爲スノ能力即チ利害得失ヲ考察シテ事ヲ決スルノ智力ヲ具有セサルヘカラス又實際承諾ヲ爲スノ能力ヲ有スル者ト雖モ法律上特ニ結約ヲ禁シタル者ハ契約ヲ爲スヘカラサルナリ

無能力ニ二種アリ一ハ性質上ノモノニシテ一ハ法律上ノモノナリ性質上ノ無能力者トハ一時タルト繼續タル

トニ論ナク精神錯亂シ智力ヲ喪失シタル者ヲ謂ヒ法律上ノ無能力者トハ實際智力ノ不充分ナルト否トニ論ナク之ヲ推定シ又ハ智力ノ充分ナルト明カナルモ特別ノ理由アルヲ以テ其能力ヲ殺キタル者ヲ謂フ以下此點ヲ分説スヘシ

○〔五十七〕性質上ノ無能力者 性質上ノ無能力者トハ幼者白痴癡癩泥酔者激怒者ノ類ヲ謂フ
 幼者及ヒ白痴癡癩ノ性質上ノ無能力者タル所以ハ一ハ經驗ニ乏ク其所爲ノ利害得失ヲ考慮スルノ智力發達セサルカ故ニシテ一ハ精神錯亂シ智力喪失セルカ故ナリ
 泥酔者及ヒ激怒者ヲ無能力者ト爲スノ點ニ付テハ世間往々論アリト雖モ泥酔ハ人ノ智力ヲ蔽ヒ能力ヲ損シ又

激怒ハ往々心意ヲ惑亂セシムルヲアレハ之ヲ以テ無能力者ト爲ス亦決ノ誤レルニアラサルナリ然レモ此場合ニ於テハ實際泥酔又ハ激怒ノ爲メニ不完全ナル承諾ヲ爲シタリヤ否ヲ考案シ然ル後事ヲ決セサルヘカラス
 ○〔五十八〕法律上ノ無能力者 法律上ノ無能力者ニ二種アリ一ハ一般ノモノニシテ一ハ特別ノモノナリ會社契約ニハ一般ノ無能力法ヲ適用スヘキノミナラス亦特別ノ無能力法アレハ左ニ一般ノ無能力ヲ論シ然ル後特別ノ無能力ニ論及スヘシ
 ○〔五十九〕一般ノ無能力者トハ未丁年者禁治産者及ヒ妻ナリ〔佛民法第千百二十四條〕此等ノ者亦一切ノ場合ニ無能力ナリト謂フニアラス唯其無能力ナル場合多クシテ

其能力ヲ有スルハ道理上一ノ例外ニ属スルカ故ニ之ヲ一般ノモノト爲シタルナリ

○〔六十〕未丁年者 未丁年者トハ法律上ニ定メタル年齢ニ達セサル者ヲ謂フ凡ソ人ハ多少ノ歲月ヲ經過シ世事ニ經驗セルニアラサレハ其身ヲ脩メ其財ヲ理ムルノ能力利害得失ヲ辨別スルノ智力未タ發達セサルモノナリ抑モ人ハ幾歲月ヲ經過セハ至ク其能力發達スルニ至ルヤノ點ハ身位ノ尊卑智識ノ深淺教育ノ厚薄等ニ因リ實際其期チ一ニセス而モ此等ノ情狀ヲ斟酌シ各人ノ能力ヲ調査スルハ人力ノ能クスル所ニアラサレハ各國多數者ノ能力ヲ基本トシテ一定ノ推測ヲ定メサルヘカラス佛國ニ於テハ滿二十一歳以下ヲ以テ未丁年ト定メタリ

〔民法第三百八十八條〕

未丁年者ハ法律上無能力ナリト推測シタル者ナリト雖モ曩ニ一言シタル如ク亦必スシモ自ラ事ヲ行フ能ハサルニアラス佛國ニ於テハ假免ナルモノヲ設ケテ以テ實際能力ヲ有スル幼者ニ其幾分ヲ與ヘタリ〔民法第四百七十六條以下〕又假免セラレサル幼者ト雖モ所爲ノ性質ニ因リ自ラ事ヲ行フヲ許スコトアリ此點ニ付テハ論スヘキモノ殊ニ多シト雖モ本書ノ主眼ニアラサレハ總テ之ヲ略ス

○〔六十一〕禁治産者 禁治産ニ裁判上ノモノト法律上ノモノトノ二アリ裁判上ノ禁治産トハ丁年ニ達シタルモ智覺精神ノ充分ナラサルノ故ヲ以テ裁判上治産ノ全部

若クハ幾分ヲ禁スルモノニシテ法律上ノ禁治産トハ刑罰ニ處セラレタルノ故ヲ以テ當然治産ヲ禁スルモノナリ

裁判上ノ禁治産トハ佛民法第四百八十九條以下第五百十三條千八百三十八年六月三十日附ノ法律ニ定メタルモノ、類ニシテ法律上ノ禁治産トハ佛刑法第二十九條乃至第三十一條及ヒ千八百五十四年五月三十一日附ノ法律ニ定メタルモノナリ〔日本刑法第三十五條〕此點ニ付テモ亦論スヘキモノ多シト雖モ茲ニ之ヲ略ス

○〔六十二〕妻 政治上ノ能力ハ姑ク措テ論セス凡ソ人ハ男女ノ別ナク民事上ノ能力ヲ有スルモノナリト雖モ女子一旦結婚スルヤ多少之ヲ減殺セラル、モノトス其理

左ノ如シ

抑モ夫妻ハ貞實ニシテ真情ヲ尽クシ相與ニ扶持佑翼シ以テ室家ノ大倫ヲ全フセサルヘカラス若シ夫妻各其權利ヲ擅行セハ恰モ天ニ二日アリ國ニ二主アルカ如ク遂ニ其情交親ヲ破リ一家ノ休安ヲ保ツ能ハス從テ社會ノ秩序亦其安全ヲ維保スルコト能ハサルニ至ル故ニ女子結婚スルルハ其權利ノ過半ハ夫ノ權利中ニ埋没シ夫ノ然諾ヲ經ルニアラサレハ之ヲ實行スルヲ得スト爲スヘキナリ然レモ是レ亦例外ナキニアラス或種ノ所爲ハ妻之ヲ獨行スルヲ得ルモノナリ

○〔六十三〕右三種ノ無能力者ハ會社契約ヲ結フヲ得ルカ日夕幼者禁治産者ハ會社契約ヲ結フノ能力ナシ〔假免セ

○會社ノ要件○承諾

ヲレタル者亦會社契約ヲ結ブノ能力ナシト雖モ無名會社又ハ差金會社ノ契約ハ之ヲ結ブヲ得ルヲアリ佛民法第四百八十一條第四百八十四條ヲ參看スヘシト雖モ妻ニ至テハ少ク論アリ然レモ婚姻ノ制ヲ異ニスル吾力國ニ在テ之ヲ論スルハ其要ナキヲ以テ之ヲ略シ茲ニハ妻モ亦能力ナシト概定セントス

○〔六十四〕是レヨリ會社契約ニ特殊ナル無能者ヲ一言スヘシ

會社契約ニ特殊ナル無能力者ハ佛民法第千八百四十條及ヒ佛商法第十八條ニ之ヲ定メタリ商事會社ニ關スル無能力法ハ附録ニ讓リ茲ニハ唯第千八百四十條ニ定メタル所ノ法則ヲ一言スヘシ

同條ニ曰ク如何ナル全括會社ト雖モ各自相互ニ附與シ又ハ收受スルノ能力アリテ且他人ノ損害ニ於テ己レヲ利スルヲ禁セラレサル各人ノ間ニアラサレハ之ヲ設クルヲ得スト此法則ニ付テハ大ニ論スヘキモノアリト雖モ茲ニハ唯特別ノ無能力者アル旨ヲ明示スルニ止メ第二編第二章第一節ニ至テ之ヲ詳論スヘシ

○〔六十五〕以上無能力者ニ關スルノ法ヲ略説シタリ是ヨリ無能力者ノ爲シタル會社ハ其成立ヲ妨クルモノナリヤ又ハ其效力ヲ損スルニ止マルモノナリヤノ点ヲ一言スヘシ

○〔六十六〕性質上ノ無能力者ハ智覺精神ニ乏ク若クハ心神惑亂シタルモノナレハ縱ヒ外形上承諾アリタルカ如

キ觀ヲ呈スルモ其實承諾ナキモノナリ故ニ其爲シタル
會社契約ハ全ク無ニ屬シ畜ニ無能力者ヨリ之ヲ訴フル
ヲ得ルノミナラス亦對手人ヨリモ之ヲ訴フルヲ得ヘキ
ナリ然レモ法律上ノ無能力者ニ至テハ一概ニ論スルヲ
得ス

○〔六十七〕未丁年者及ヒ裁判上ノ禁治産者ヲ以テ法律上
無能力者ト爲シタル所以ハ其完全ナル承諾ヲ爲スヲ得
サルカ故ニシテ全ク承諾ヲ爲スヲ得サルカ故ニアラサ
レハ其締結シタル會社ハ之ヲ取消シ得ルニ止マルモノ
トス然レモ其實性質上ノ無能力者ニ歸スル者ニ至テハ
此限ニ在ラス例ヘハ五六歳ノ未丁年者若クハ眞ニ智覺
精神ヲ喪失シタル禁治産者ノ爲シタル會社ハ全ク無ニ

屬スルノ類ナリ

右承諾ニ瑕疵アリトシテ其契約ヲ取消シ得ヘキ場合ニ
於テハ無能力者ヨリ之ヲ取消スヲ得ルモ對手人ヨリス
ルヲ得ス是レ對手人ハ充分ニ能力ヲ有スル者ニシテ而
シテ此種ノ契約タル唯承諾ニ瑕疵アルカ爲メ之ヲ取消シ
得ヘキニ止マリ全ク無ニ屬スルモノニアラサレハナリ
法律上ノ禁治産者ニ至テハ其爲シタル會社契約ハ全ク
無ニ屬スルモノトス是レ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ヲ
無能力者ト定メタル所以ハ其承諾ヲ爲スノ能力ナキカ
故ニアラスシテ囚人因テ以テ多少ノ快樂ヲ資リ時ニ不
正ノ使用ヲ爲シ爲メニ刑罰ノ效ヲ減殺スルノ恐レアル
カ故ニシテ法律上公益ヲ顧ミテ之ヲ定メタルモノナレ

ハ其契約ヤ全ク無ニ屬シ結約者双方ヨリ之ヲ訴フルヲ許シテ以テ其制裁ト爲サ、ルヘカラス

○〔六十八〕契約全ク無ニ屬スル場合ニ於テハ其全ク成立セサルカ故ニ幾歲月ヲ經過スルモ其效力ヲ生スルトナシト雖モ其取消シ得ヘキ場合ニ於テハ法律上宜ク之レカ期限ヲ定メ之ヲ經過シタルホハ其效力ヲ生スルモノト爲サ、ルヘカラス佛國ニ於テハ通常其期限ヲ十年ト定メタリ蓋シ尤當ナラン

右ノ法則ハ無能力者ノ場合ニ限レルモノニアラスト雖モ前キニ之ヲ脱シタレハ茲ニ之ヲ一言シタルナリ以下目的物原因等ニ關シテハ總テ之ヲ略ス

○

第二款 目的物ヲ論ス

○〔六十九〕凡ソ契約ハ權利義務ヲ創設シ之ヲ變更シ若クハ之ヲ消滅セシムルヲ以テ其目的ト爲スカ故ニ契約ノ目的ハ權利義務〔以下單ニ義務ト云フ是レ權利ト義務トハ相對スルモノナレハナリ〕ニ外ナラス而シテ其義務亦自ラ其目的ノ爲ス所アリ即チ或ル物ヲ給付シ若クハ之ヲ給付セシメ又ハ或ル事ヲ禁止シ若クハ之ヲ禁止セシムルヲ以テ其目的ト爲スモノナリ今此目的ナカランカ義務生セス義務生セサランカ契約其目的ヲ欠クヘシ故ニ茲ニ此目的ヲ論セサルヘカラス

○〔七十〕會社契約ノ場合ニ於テハ其目的物ニ關スル法理ハ持寄物ニ關シテ之ヲ詳論スルノ必要ヲ感スレハ茲ニ

○會社ノ要件○目的物

ハ單ニ目的物ニ必要ナル二个ノ條件即チ畫定ニシテ結約者ノ處分スルヲ得ヘキヲ必要ト爲スノ普通法理ヲ論スヘシ

○〔七十一〕目的物畫定セルト有形体ト無形体トニ論ナク結約者ノ處分シ得ヘキ物ハ都テ義務ノ目的タルヲ得ルモ其物タル必ス畫定セルヲ要ス是レ其畫定セサランカ權利者ニ於テ義務ノ執行ヲ要ムルヲ得ス從テ其契約成立スヘカラサレハナリ茲ニ所謂畫定物トハ確定物ノ謂ニアラス其種類性質分量多寡等ヲ定メ後ニ之ヲ辨知スルヲ得ヘキ標準底位ノ定立スルアラハ既ニ以テ足レリトス其目的物タル必スシモ當時之ヲ明定スルヲ要スルモノニアラス或ハ實際ノ模様ニ因リ其目的物ノ畫定

セルトアリ或ハ其畫定ヲ他日ニ讓ルモ其效アルトアリ」
○〔七十二〕目的物處分シ得ヘキト目的物ハ單ニ畫定セラルチ以テ足レリトセス尙ホ結約者ノ處分シ得ヘキヲ要ス其處分シ得ヘカラサル物ニ二種アリ一ハ性質上ノモノニシテ一ハ法律上ノモノナリ性質上處分シ得ヘカラサル物トハ其物ノ性質上人ノ處分シ能ハサルモノニシテ法律上處分シ得ヘカラサルモノトハ其性質上人ノ處分シ能ハサルニアラスト雖モ公益上法律ヲ以テ其處分ヲ禁シタルモノナリ

○〔七十三〕第一 性質上處分シ得ヘカラサル物 性質上處分シ得ヘカラサル事物トハ成作シ難キ所爲禁制シ難キ所爲又ハ給付シ難キ物件ヲ謂フ請フ左ニ之ヲ分説セ

○〔七十四〕第一 存在セサル物件 結約ノ當時既ニ其目的物滅尽シタルハ契約其效ナシ是レ存在セサル物ハ到庭人ノ處分シ得ヘキモノニアラサレハナリ

○〔七十五〕第二 到底人力ノ得テ及ハサル事物 凡ソ人力ノ得テ及ハサル事物ニ絶對的ノモノ即チ何人ト雖モ其力及ハサルモノト相對的ノモノ即チ義務者ノ力及ハサルモ他人ノ得テ及フヘキモノトニアリ其絶對的ノモノニ至テハ世人皆ナ以テ契約ノ目的ト爲スニ足ラサルヲ認ムルト雖モ相對的ノモノニ至テハ往々異論ヲ唱フル者アリ然レモ相對的ノモノト雖モ其義務者ノ處分シ得サルノ点ニ至テハ則チ一ナリ豈到底其力及ハサル

事ヲ強ユルヲ得ンヤ或ハ赤貧者ニシテ數百金ヲ持寄ルヘキノ約ヲ結ヒタル如キ場合ヲ見テ此ノ如キ說ヲ唱フルナルヘシト雖モ此ノ如キハ決シテ其力及ハサルニアラス或ハ他ニ金策ヲ施シテ義務ヲ尽クスヲ得サルヲ必スヘカラサルナリ
一時義務者ニ於テ爲シ難シト雖モ他日必ス爲シ得ヘキト明カナルモノハ以テ契約ノ目的ト爲スヲ得然レモ其義務ニ明暗ニ期限ヲ附シタル場合ニアラサレハ其效ナシ

○〔七十六〕第三 他人ニ属スル確定物 確定物ヲ目的トスル會社契約ヲ結ヒタル場合ニ於テ其物件結約者以外ノ人ニ属スルハ其物タル性質上處分シ得ヘカラサル

カ故ニ其效ナシ是レ其所有主タル者ハ自己ノ關係セサル契約ノ爲メニ拘束セラル、ナキハ勿論義務者自己ノ力及ハサル事ヲ約シタルモノナレハ爲メニ義務ヲ負フアラサレハナリ

○〔七十七〕第四 公共物 公共物トハ衆人之ヲ使用スルヲ得ルモ性質上決メ人ノ所有ニ属スヘカラサルモノナリ故ニ公共物ハ性質上處分シ得ヘカラサルモノトス

○〔七十八〕第五 官職貴職身分自由ノ類 古昔未開ノ時ニ在テハ官職貴職身分ノ賣買アリシノミナラス又人身自由ノ賣買アリタリキ是レ至ク其理ニ反スルモノニシテ今日ニ在テハ其處分ヲ許サス或ハ此種ノ物ハ法律上處分シ得ヘカラサルモノナリト曰フモ是レ唯往昔其性

質ニ反シテ之ヲ處分シタルヲアルヲ見テ斯ク云フニ過キス其眞理ノ在ル所ヲ釋ヌレハ恰モ他人ノ確定物ト同ク性質上人ノ處分シ得ヘカラサルモノナリ

○〔七十九〕第二〇法律上處分シ得ヘカラサル物 法律上處分シ得ヘカラサル事物トハ公安風儀ヲ維持スル等公益上定メタルモノニシテ未開始相續ノ如キ又猥褻ノ圖書ノ如キ不可通易物即チ是レナリ法律ヲ以テ特ニ義務ノ目的ト爲スヲ禁セサルモノト雖モ事原ト不正ニ属スルキハ之ヲ以テ義務ノ目的ト爲スヲ得ス其刑法ニ觸ル、并固ヨリ然リ

第三款 原因ヲ論ス

○會社ノ要件〇原因

○〔八十〕原因トハ人ヲシテ契約ヲ締結セシメタル所ノ直接ノ理由ニシテ或ハ單ニ心意上ノ満足ニ存スルアリ或ハ財産上ノ満足ニ存スルアリ契約ノ種類ニ因テ其理由相同シカラス

曩ニ錯誤ノ点ニ付キ論シタル如ク契約ニハ遠因即チ原因ノ原因アリ原因ハ契約ト直接ノ關係ヲ有シ之ニ影響ヲ及ホスト雖モ遠因ハ特別ノ場合ヲ除クノ外毫モ之ニ影響ヲ及ホストナシ故ニ特ニ之ヲ論セス

○〔八十一〕右ノ如ク原因ハ人ヲシテ契約ヲ締結セシメタル所ノ直接ノ理由ナレハ其原因ナキハ勿論其眞實ナラサルハ若クハ其不正ナルハ契約決メ成立スルヲナシ請フ左ニ之ヲ分説セン

○〔八十二〕第一 無原因 契約ハ徒爲遊戯ニアラス必スヤ之ヲ締結シタル所ノ理由アリテ存ス今此理由ナカラシカ決メ成立スルヲナシ故ニ供給ヲ以テ原因ト爲シタル場合ニ締結ノ當時其物件ナク又ハ其事物處分シ得サルモノナルハ原因ナキヲ以テ其契約成立セサルナリ

茲ニ注意ヲ要スルモノハ原因ト目的物トハ密着セル關係ヲ有シ無原因ノ契約ハ多クハ其目的物ナキト是レナリ

○〔八十三〕無原因ノ点ニ付キ一難問アリ他人ノ爲メ權利ヲ約シタルハ其效アリヤ否ノ点是レナリ〔民事會社ニ關シテ實際此難問ヲ生スルヲ殆ト稀ナリ多クハ商事會

社ニ關シテ之レアルノミ讀者此点ニ意ヲ注クニアラサ
レハ理論ノ適用殆ト之レナキヲ以テ深ク怪ムニ至ルヘ
シ」

凡ソ契約ヲ締結スルノ理由ハ自己ノ満足ヲ得ルニ在レ
ハ毫モ自己ニ満足ヲ與フヘキモノナキハ其契約無原
因ナリ故ニ他人ノ爲メニ結ビタル約權ハ成立セサルヲ
以テ通則ト爲セ凡亦之レカ例外ニ屬スルモノナキニア
ラス彼ノ後見人ノ未丁年者ニ於ケル夫ノ妻ニ於ケル代
理人ノ委託人ニ於ケル代理權内ニ於テ本人ノ爲メニ權
利ヲ約シタルハ本人自ラ之ヲ約シタルト同一ノ效力
ヲ有スルカ故ニ其契約有效ナルハ勿論苟モ情誼ノ見ル
ヘキモノアラハ他人ノ爲メニ結ビタル約權其効ヲ有ス

ルモノナリ

○〔八十四〕抑モ他人ノ爲メニ結ビタル約權ノ無効ナル所
以ハ自己ニ金錢上ノ利益ナク又無形上ノ利益ナキカ故
ニシテ其單ニ金錢ニ見積ルヘキ利益ナキカ故ニアラス
故ニ情誼ノ見ルヘキモノアラハ金錢上ノ利益ノ有無ニ
關セス其契約有效ナリトス他人ノ爲メニ權利ヲ約シタ
ル場合ニ於テ之レカ原因タル情誼ノ見ルヘキモノアル
場合ニアリ請フ左ニ之ヲ辨セシ

○〔八十五〕第一○他人ヨリ或ル事ヲ行フヘキノ代理ヲ受
ケサルモ情誼上其事務ヲ管理スルヲアルハ實際往々見
ル所ナリ此場合ニ於テハ約權者ニ金錢上ノ利益ナシト
雖モ情誼ノ見ルヘキモノアルカ故ニ其約權ヲ以テ無原

因ナリ無効ナリト謂フヘカラス唯其未タ契約ヲ執行シ了ラサル前ニ當テ本人其情ヲ知り其權利ヲ得ルヲ肯セサルルハ之ヲ強ユルヲ得サルカ故ニ其契約無ニ屬スヘキノミ然レモ是レ一種ノ解除ノ條件ニシテ停止ノ條件ニアラス何トナレハ此種ノ約權タル本人ノ承諾ノ有無ニセス約權者ノ情誼ヲ以テ其原因ト爲スカ故ニ本人ニ於テ之ヲ承諾セサル旨ヲ表示スルニ至ルマテハ充分ニ其效ヲ有シ約權者其義務ノ執行ヲ要ムルヲ得ルモノナレハナリ

如何ナル場合ニ事務管理ノ爲メニ權利ヲ約シタリト謂フヘキヤノ點ハ事實上ノ問題ニシテ一概ニ之ヲ論スルヲ得ス約權者嘗テ本人ノ爲メニ事務ヲ管理シタルニア

リ若クハ其約權ニ罰款ヲ附シタル場合ノ如ク其理由ヲ推知スル容易ナルルハ勿論否ラサル場合ト雖モ多少力ヲ尽クスヘキノ理由存スルルハ其約權有效ナリトス事務管理ノ點ニ付テハ論スヘキモノ少カラスト雖モ本書ノ主眼ニアラサレハ之ヲ略ス

○〔八十六〕第二〇情誼上事務管理ヲ爲シタルニアラサルモ自己ノ約務ノ條件トシテ他人ノ爲メニ權利ヲ約シタルルハ爲メニ力ヲ尽クスヘキノ理由存スルヲ推シテ知ルヘキカ故ニ其約權有效ナリトス

○〔八十七〕事務管理ノ爲メニアラスシテ他人ノ爲メニ結ヒタル約權ハ其本人ニ如何ナル效力ヲ生スヘキカ抑モ契約ハ結約者ニアラサル者ヲ拘束スルノ力ナキ是レ法

理ノ原則ナレハ他人ノ爲メニ結ヒタル約權直チニ本人ニ利益ヲ生スルヲナシト雖モ約權者ハ本人ニ利益ヲ與フルノ意アリテ其事ノ外形ニ顯ハレタルモノナレハ其性質ヤ約權者ヨリ本人ニ對シテ爲シタル所ノ喚諾ナリ故ニ本人ハ之ニ應諾スルヲ得ヘク其應諾ヲ爲シタルハ始メテ其效ヲ生スルモノナリ其レ然リ故ニ約權者ハ本人未タ應諾ヲ爲サル以前ハ其約權ヲ取消スヲ得ヘシ唯約務者亦他人ヲ益スルノ意思及ヒ其事實アルハ之ヲ取消スニ其承諾ヲ要スヘキノミ

○〔八十八〕約權ハ一ノ喚諾ニシテ本人之ニ應諾スルハ其效アリト雖モ約務者爲メニ必スシモ義務ヲ履行スルヲ要スルモノニアラス其約權ヲ以テ停止ノ條件ト爲シ

タルハ義務者其權利ヲ拋棄シテ其義務ヲ免カル、ヲ得ヘシ然レハ之ヲ以テ解除ノ條件ト爲シタルハ約務者其義務ヲ履行セサルヘカラサルナリ

○〔八十九〕約權者其意ヲ變シタルニ因リ又ハ本人權利ヲ得ルヲ承諾セサルニ因リ其約權取消サレタルハ何人カ之ヲ利スヘキカ此點亦宜ク區別ヲ設ケテ論セサルヘカラス其義務タル何人ノ爲メニ之ヲ行フモ敢テ妨ケナキハ約權者自己ノ爲メニ其執行ヲ要ムルモ他人ノ爲メニ之ヲ要ムルモ至ク隨意ナリト雖モ爲メニ約務者ニ損失ヲ生スル場合ニ於テハ其既得ノ權利ヲ害スヘカラス即チ之ニ損害ヲ生セサル限り之ヲシテ義務ヲ履行セシムルニ止マルヘシ又其利益ヲ受クヘキ人ヲ更フ能ハ

サルルハ約務者ノ利益ニ歸スヘキナリ

○〔九十〕義務ヲ履行セサル以前ニ本人又ハ結約者死去シタルルハ如何

第一 約務者死去シタル場合ニ於テハ其約務主タル契約ノ停止ノ條件タルト否トヲ區別シ其停止ノ條件ニシテ相續人亦之ヲ履行シ得ヘキルハ之ヲ履行シ約權者ヲシテ供給ヲ爲サシムルヲ得ヘク否ラサルルハ主タル契約發生スヘカラス又其解除ノ條件ニシテ相續人亦之ヲ履行シ得ヘキルハ約權者又ハ本人ニ於テ其履行ヲ要ムルヲ得ヘク否ラサルルハ執行ノ不能爲ニ因リ其義務負擔ハ消滅ニ歸スヘキナリ

第二 本人又ハ約權者死去シタル場合ハ其本人ノ承諾

前ナルト否トヲ區別シ又其約權停止ノ條件タルト解除ノ條件タルトヲ區別セサルヘカラス
本人承諾ヲ爲シタル後ハ本人若クハ約權者死去スルモ毫モ其契約ニ影響ヲ及サスト雖モ〔會社ハ社員ノ死去ニ因テ解散スルモ是レ既ニ成立シタルモノ、消滅スルニシテ契約ノ全ク無ニ屬スルニアラサルナリ〕其承諾前ニ死去シタルルハ宜ク區別ヲ設ケサルヘカラス約權ハ本人ニ對スル喚諾ナレハ約權者死去スルルハ喚諾消滅スヘク又本人死去スルルハ應諾ヲ爲ス能ハサルナリ然レ其利益ヲ受クヘキ人ヲ更フルヲ得ヘキルハ曩ニ開說シタル所ノ區別ニ基キ約權者之ヲ他ノ人ノ爲メニシ又ハ自己ノ爲メニスルヲ得ヘキナリ而シテ停止ノ條件タル

義務ヲ履行スル能ハサルハ主タル契約無ニ属シ解除ノ條件タル義務ヲ履行スル能ハサルハ主タル契約確成スルモノナリ

○〔九十一〕第二 虚偽ノ原因 原因ノ虚偽ナル場合ニアリ一ハ結約者ニ於テ其實原因ナキヲ誤テ之レアリト信シタルモノニシテ之ヲ稱シテ錯誤ト曰フ一ハ結約者故ヲニ無實ノ原因ヲ契約ノ證ニ明示シタルモノニシテ一ヲ稱シテ變裝ト曰フ

原因ノ錯誤ハ歸スル所無原因ナリ故ニ其契約成立セサルヤ固ヨリ明カナリト雖モ變裝ノ場合ハ宜ク區別ヲ設ケテ之ヲ論セサルヘカラス若シ變裝ノ原因ノ外ニ具ノ原因ナキハ又ハ之レアリト雖モ結約者之レカ爲ノニ其

意ヲ決シタルニアラサルハ無原因ノ場合ト同ク其契約成立セスト雖モ他ニ結約者ノ意ヲ決セシメタル原因アリテ唯名譽上若クハ他ノ情實上之ヲ變裝シタルニ過キサルハ其契約ヲ無効タラシムルノ理ナシ乃チ其契約ハ充分ニ成立シ且其效力ヲ有スルモノナリ

○〔九十二〕第三 不正ノ原因 不正ノ原因トハ一方又ハ双方ノ供給法律ニ違背シ一般ノ風儀ニ背反シ公ケノ秩序ニ乖戾スルヲ謂フ義務ノ目的物法律上授受ヲ禁シタルモノナルハ亦然リ

不正ノ原因ノ例頗ル多シ人ノ身分自由ヲ滅殺スルモノ農工商ノ自由ヲ妨害スルモノ賭博ニ原因スルモノ結婚ノ自由ヲ妨クルモノ、如ク刑法ニ觸レ若クハ他ノ法律

ノ禁制ニ係ルモノハ勿論其他公義ヲ主トスル法理上許スヘカラスアルモ皆ナ然リ

第四款 本節ニ通スヘキ法則ヲ論ス

○〔九十三〕前數款ニ於テ契約ノ成立及ヒ其効力ニ必要ナル條件ヲ論シタリ因テ茲ニ普通ノ法則ヲ一言スヘシ是レ各款下ニ於テ之ヲ論スルルキハ重複ニ屬スルノ恐レアレハナリ

○〔九十四〕契約ノ有無ハ推測スヘキモノニアラス故ニ契約アリト唱フル者ハ必ス之ヲ證明セサルヘカラスト雖モ一旦之ヲ證明シタル以上ハ其契約有效ナリト看做サルヘカラス是レ契約ヲ締結スルハ一ノ例外ニシテ契

約ノ無効ナルト亦一ノ例外タルカ故ナリ此点タル證據法ノ一大原則ニシテ一點ノ疑訝ナキカ如キモ契約アリト唱フル者ノ證明スヘキ點如何ニ至テハ往々議論アリ「ボワゾナード」氏ハ契約ノ成立ニ必要ナル條件ハ推測スヘキモノニアラス其契約アリト唱フル者ニ於テ必ス之ヲ證明セサルヘカラス然レモ其効力ニ必要ナル條件ハ反證ヲ舉クルニアラス以上ハ之ヲ推測スルモノナリト説キ後原因ハ之ヲ推測ス唯原因ノ明示ナキ片對手人ニ其何ノ原因ニ基クヤチ言ハシムルヲ許スヘシト説ケリ前後少シク矛盾スルニ似タリト雖モ是レ唯成立ノ條件ト有效ノ條件トニ因テ區別ヲ設ケタルノ失當ナルノミ其實能ク理ニ適スルヲ覺ユ抑モ契約アリト唱フル者

ニ於テ之ヲ證明スルトハ單ニ契約アルヲ證明スルノ
 謂ニアラス其眞ニ成立シ眞ニ効力ヲ有スルト否トハ措
 テ問ハス外顯上効力ヲ生スヘキ契約アル旨ヲ證明スル
 ノ謂ナリ是レ外顯上其効ナキモノヲ證明スルモ之ヲ以
 テ對手人ヲ服セシムル能ハサレハナリ故ニ第一、承諾ア
 リタルヲ第二、目的物アルヲ證明セサルヘカラス此二
 者ヲ證明スルルハ法律上其承諾ヤ完全ニ其目的物ヤ畫
 定シテ處分シ得ヘキモノナリト推測スルノミナラス亦
 正當ニシテ眞實ナル原因アリト推測ス是レ承諾ニ瑕疵
 アリ結約者ニ能力ナク目的物不畫定ニシテ處分スヘカ
 ラサルヲ等ハ一ノ例外ニ屬スルノミナラス既ニ承諾ア
 リ且目的物アレハ此約ヲ結フニ之レカ正當ノ理由アル

ト是レ一般ノ状態ニシテ之レナキハ一ノ例外ニ屬スル
 モノナレハナリ其レ然リ故ニ余ハ外顯上効力ヲ有スル
 所ノ契約アル旨ヲ證明シタルルハ法律上其効アリト推
 測シ對手人ニ反證ヲ擧クルノ義務ヲ負ハシムヘキモノ
 トス

○〔九十五〕若シ對手人ニ於テ契約成立ノ條件ヲ欠キ又ハ
 有效ノ條件ヲ欠ク旨ヲ證明シタルルハ裁判官必ス之ヲ
 取消サ、ルヘカラス此点ニ付テハ成立ノ條件ヲ欠クト
 有效ノ條件ヲ欠クトハ其結果ヲ同フスルカ如シト雖モ
 其實差異ノ大ニ見ルヘキモノアリ即チ契約成立ノ條件
 ヲ欠クルハ結約者双方ヨリ之ヲ訴フルヲ得レト單ニ有
 效ノ條件ヲ欠クニ過キササルルハ瑕疵アル承諾ヲ爲シタ

版權

ル者又ハ其能力ヲ有セサル者若クハ賠償名義ヲ以テ契
約ヲ取消スヲ許スルハ損害ヲ被リタル者獨リ之ヲ訴フ
ルヲ得ルノミ對手人ニ之ヲ訴フルノ權アリサルナリ是
成立ノ條件ヲ欠クノ契約ハ契約其者ニ瑕瑾アルニア
ラス結約者契約ヲ結フニ付キ瑕瑾アルモノナレハ其瑕
瑾ニ因リ害ヲ被フルヘキ者ノミ其取消ヲ訴フルノ權ヲ
有スヘキヤ理ノ最モ賾易キ所ナリ

○九十六然レモ亦之レカ例外ナキニアラス法律上ノ禁
治産者ノ締結シタル契約即チ是レナリ曩ニ開説シタル
如ク法律上ノ禁治産ハ懲戒ノ趣旨ニ基クモノナレハ犯
人獨リ其取消ヲ訴フルヲ得ルト爲スルハ法律其効用ナ
キニ至ルノ恐レアルカ故ニ此場合ニ限り結約者双方ヨ

明治廿一年七月廿九日印刷
同年七月卅一日出版
同年八月十三日發行

定價金貳拾五錢

發行者

小野市兵衛

大阪東區道修町貳丁目十四番地

發行者

田中 太右衛門

大阪南區安堂寺橋通四丁目六十番地

著作者

堀田 正忠

大阪北區常安町六十四番地寄留

印刷者

前田 菊松

大阪東區備後町五丁目十三番地

版權登記簿

ル者又ハ其能力ヲ有セサル者若クハ賠償名義ヲ以テ契約ヲ取消スヲ許スルハ損害ヲ被リタル者獨リ之ヲ訴フルヲ得ルノミ對手人ニ之ヲ訴フルノ權アラサルナリ是成立ノ條件ヲ欠クノ契約ハ契約其者ニ瑕疵アルニアズ結約者契約ヲ結フニ付キ瑕疵アルモノナレハ其瑕疵ニ因リ害ヲ被フルヘキ者ノミ其取消ヲ訴フルノ權ヲ有スヘキヤ理ノ最モ容易キ所ナリ

○〔九十六〕然レモ亦之レカ例外ナキニアラス法律上ノ禁治産者ノ締結シタル契約即チ是レナリ曩ニ開説シタル如ク法律上ノ禁治産ハ懲戒ノ趣旨ニ基クモノナレハ犯人獨リ其取消ヲ訴フルヲ得ルト爲スルハ法律其効用ナキニ至ルノ恐レアルカ故ニ此場合ニ限り結約者双方ヨ

欠

MISSING

明治廿一年七月廿九日印刷
同 年七月卅一日出版
同 年八月十三日發行

定價金貳拾五錢

發行者

大阪東區道修町貳丁目十四番地

小野市兵衛

發行者

大阪南區安堂寺橋通四丁目六十貳番地

田中 太右衛門

著作者

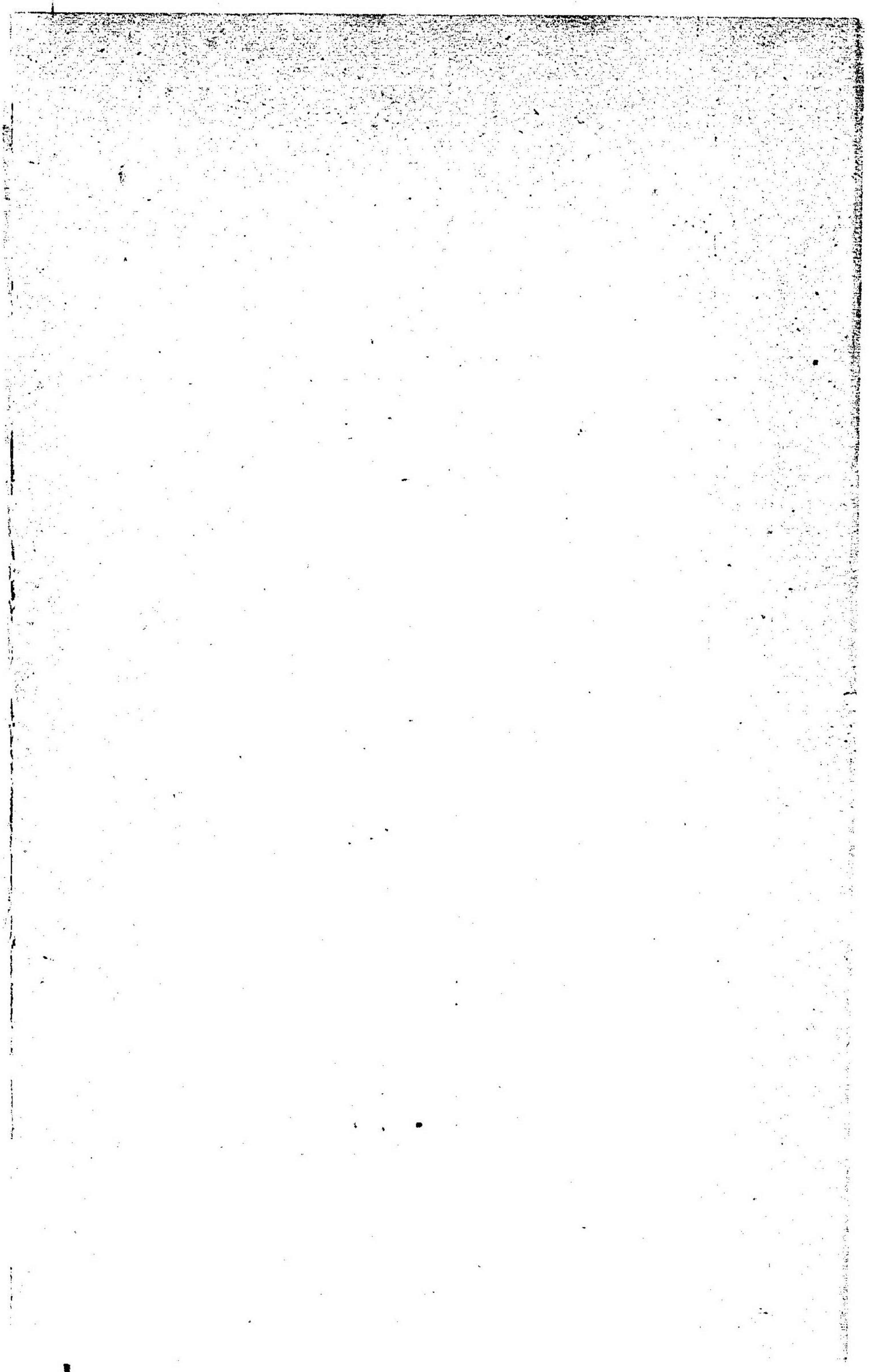
大阪北區常安町六十四番地寄留

堀田 正忠

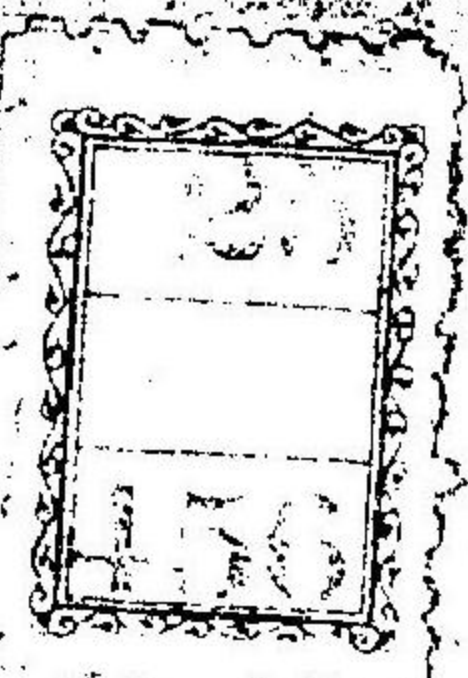
印刷者

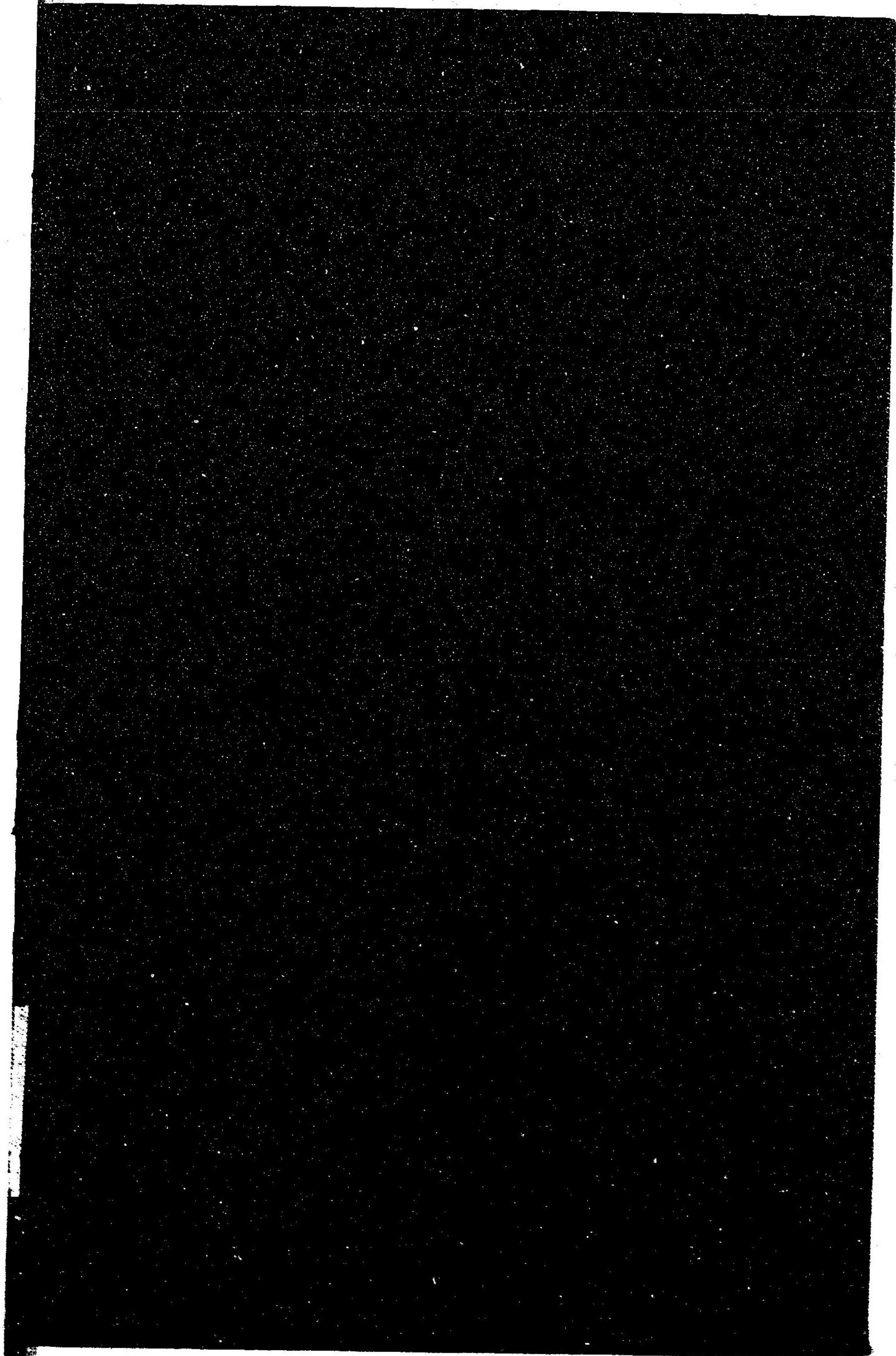
大阪東區備後町五丁目十三番地

前田 菊松



1





25
456

035404-000-8

25-456

仏国会社法要論

堀田 正忠/著

M21

BBO-0589

